

【2】 荒川中流右岸ブロック
河川整備計画変更素案について

令和2年8月

埼玉県

(1) 計画高水流量の見直しを実施する河川について

都幾川・槻川・兜川・市野川

都幾川の概要

流域の概要

都幾川は、ときがわ町の山地を源とし、山間部を流れ、都幾川とほぼ同規模の流域をもつ支川の槻川と合流している。下流には東松山市や嵐山町などの市街地を持つ河川となっている。

東松山市の低平地を流れ、坂戸市との境界で越辺川に合流する。都幾川は蛇行した河川の姿を今も残し、瀬と淵や河畔林が連続した自然豊かな河川である。

河川名

荒川水系一級河川都幾川

市町村名

埼玉県東松山市、ときがわ町、嵐山町
小川町、東秩父村

流域面積

153.5 km²

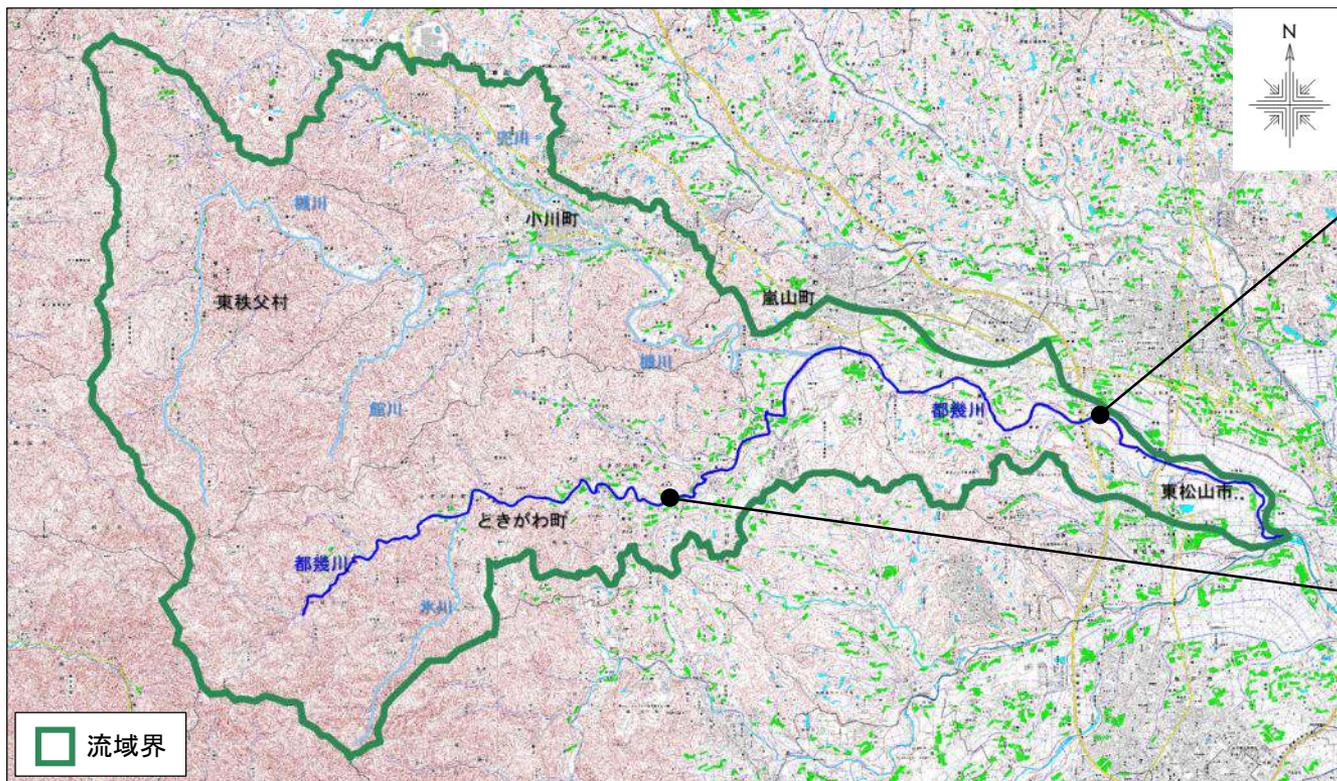
県管理区間河川延長

16.7 km

河床勾配

1/100～1/600 程度

流域図・河川沿いの状況



都幾川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

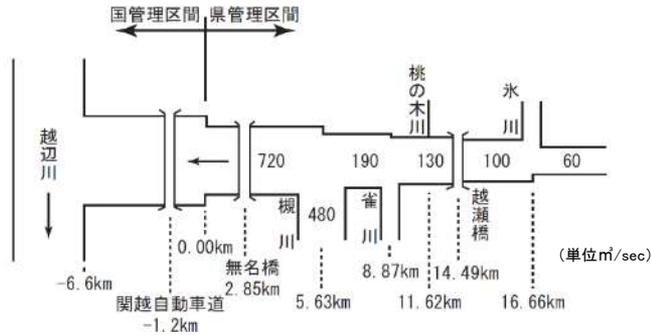
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

一部の区間で流下能力が十分でないことから、洪水による浸水被害が発生している。そのため、堤防の嵩上げや築堤、河道拡幅等の河道改修を行う。

・河川改修: 0.0km(国管理区間上流端)~4.5km、7.4km~9.6km

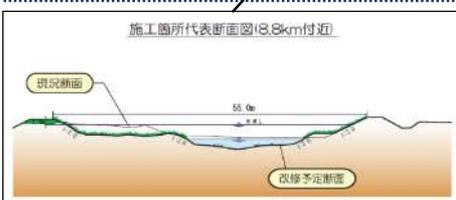
流量配分図



写真



代表断面図



- 凡例
- 施工区間
 - 改修区間
 - ① 写真の視点

槻川の概要

流域の概要

槻川は、東秩父村の山地に源を発し、流域の約93%が山地である山地河川であり、中流域では小川町の市街地を流下している。

上流域では山地の谷沿いを流れる急流河川となっており、中流域では瀬・淵や河畔林が連続している。

下流域は嵐山溪谷として県の景勝地となっている。

河川名 荒川水系一級河川槻川

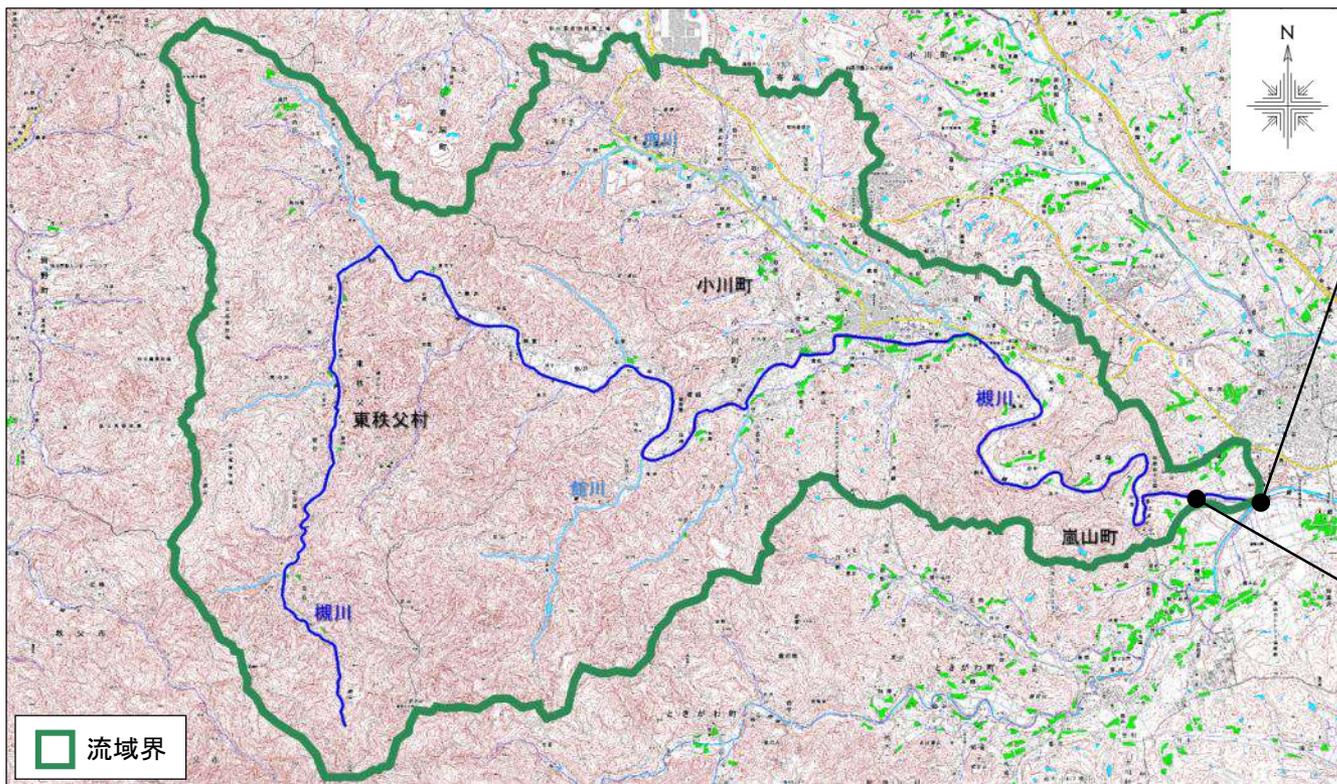
町村名 埼玉県嵐山町、小川町、東秩父村

流域面積 86.4 km²

県管理区間河川延長 24.9 km

河床勾配 1/100~1/350 程度

流域図・河川沿いの状況



槻川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

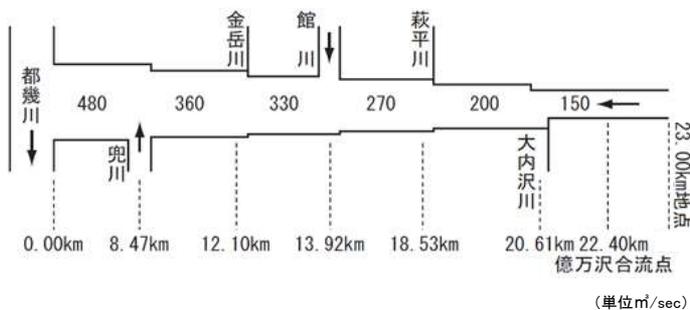
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

一部の区間で流下能力が十分ではないことから、洪水による浸水被害が発生している。そのため、堤防の嵩上げや築堤、河道拡幅等の河道改修を行う。

- ・河道改修: 0.0km~1.0km、2.0km~13.9km

流量配分図

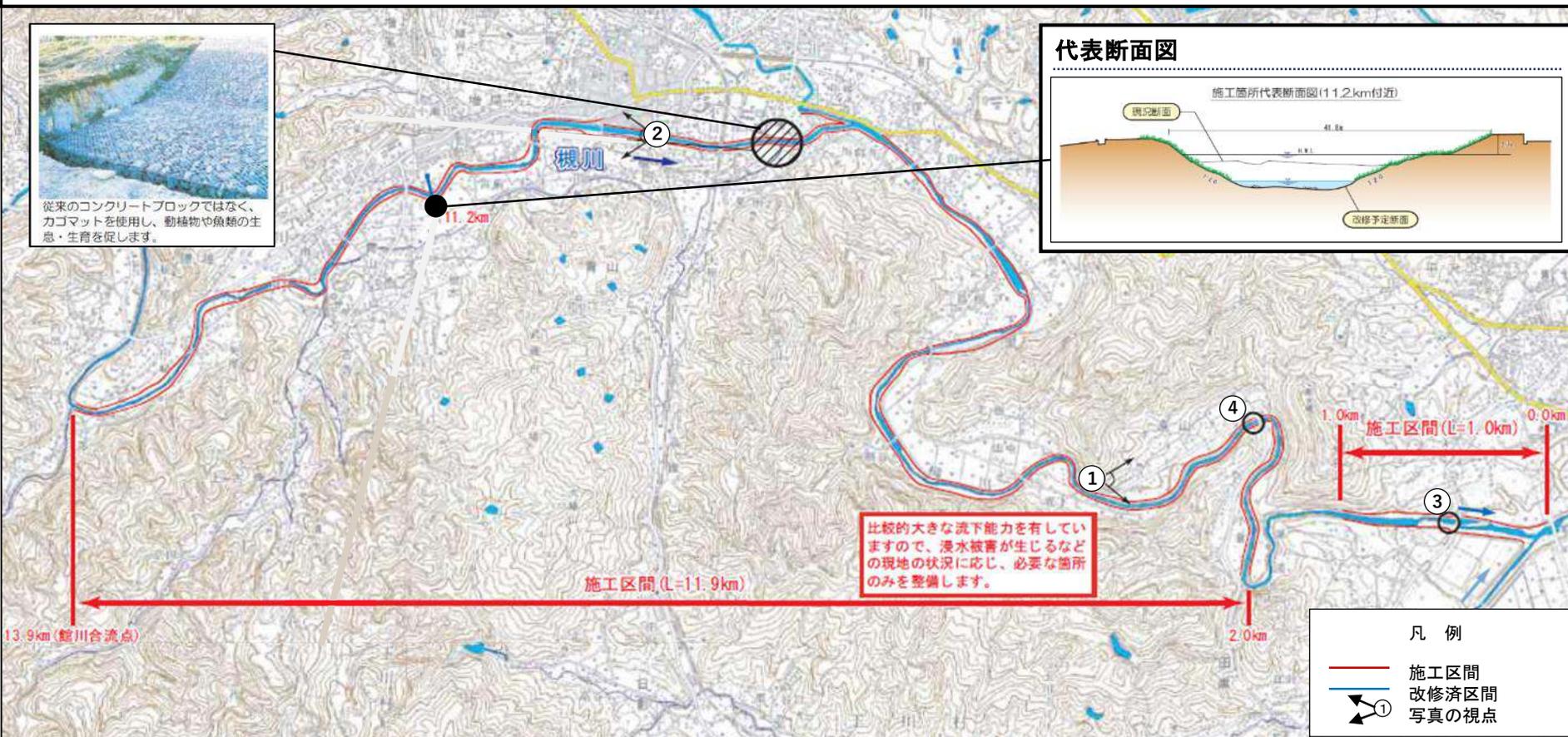
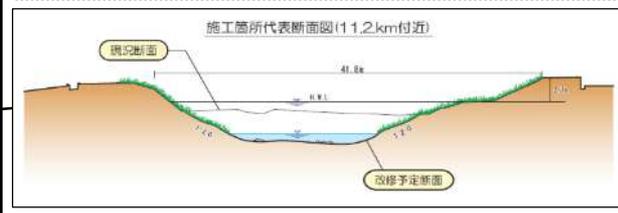


写真



従来のコンクリートブロックではなく、カゴマットを使用し、動植物や魚類の生息・生育を促します。

代表断面図



兜川の概要

流域の概要

兜川は、小川町の山地を源とし、JR八高線に沿って流下し小川町内で槻川に合流する。

上流部は、山間部の樹林地と連続した環境となっており、中流部から下流部にかけては住宅地や耕作地の間を流れ、瀬・淵や河畔林が連続した自然豊かな河川である。

河川名

荒川水系一級河川兜川

町名

埼玉県小川町

流域面積

16.9 km²

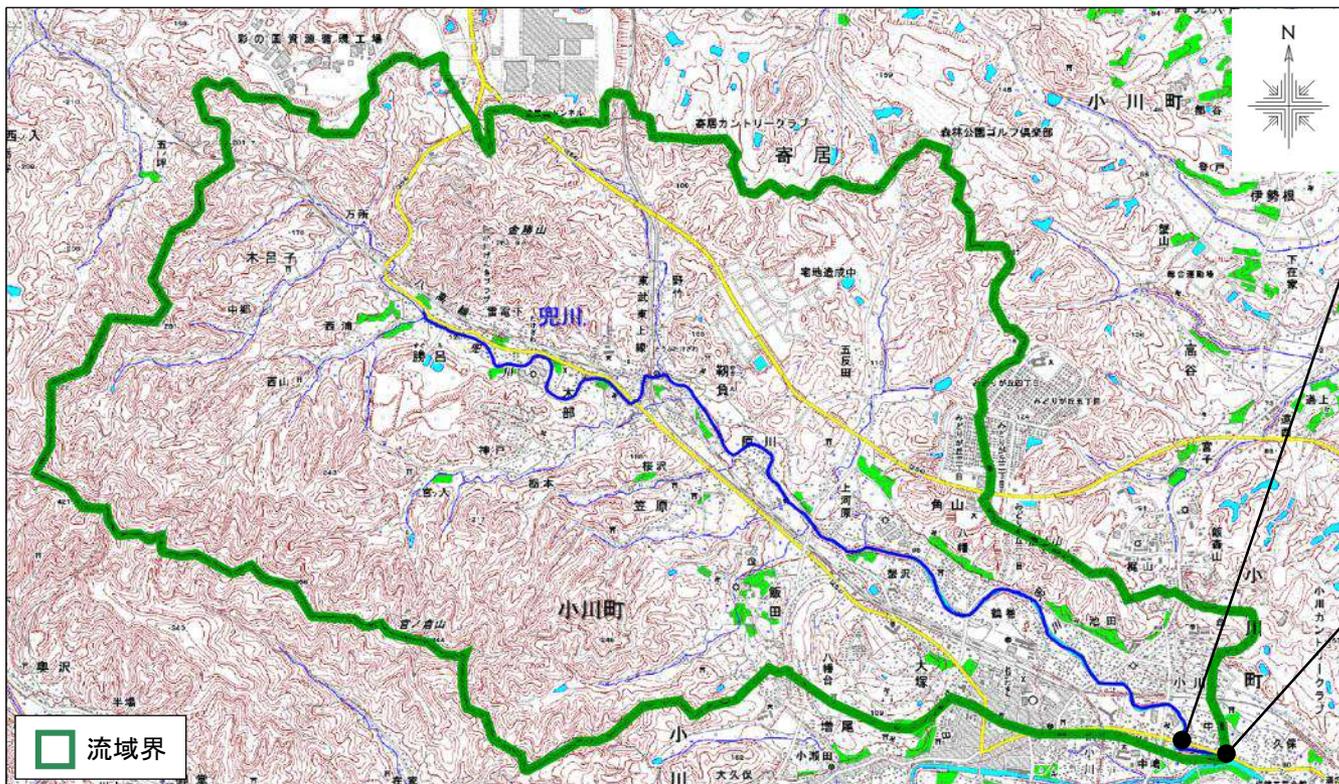
県管理区間河川延長

7.4 km

河床勾配

1/150~1/250 程度

流域図・河川沿いの状況



兜川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

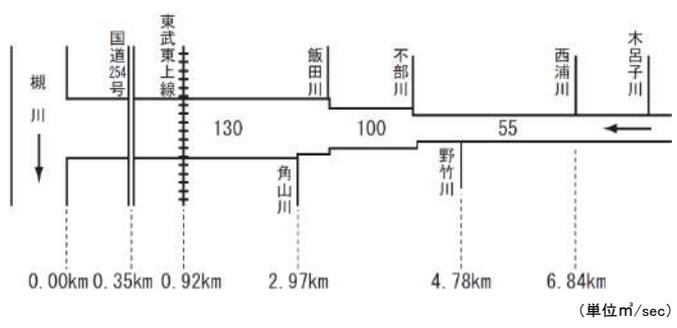
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

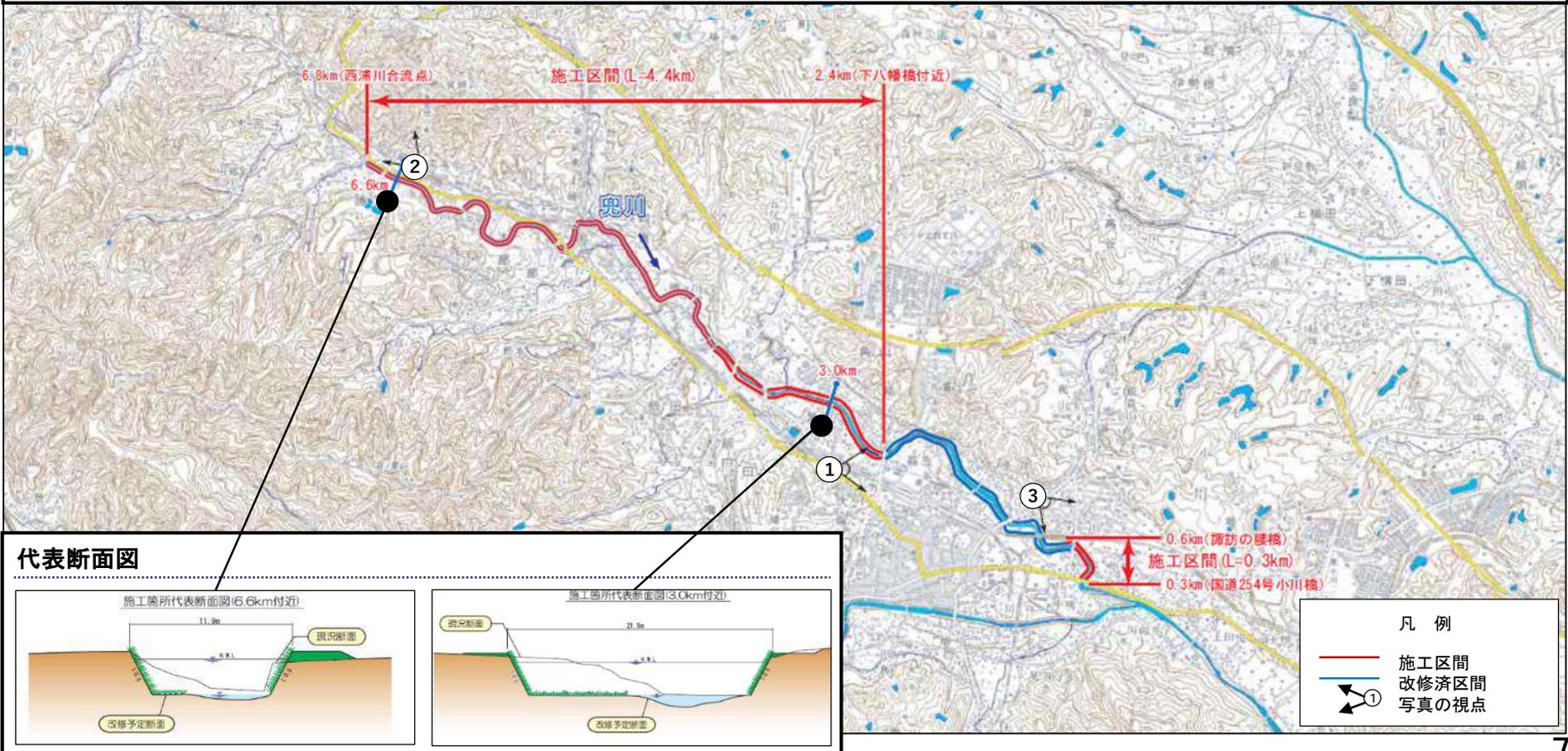
一部の区間で流下能力が十分ではないことから、洪水による浸水被害が発生している。そのため、堤防の嵩上げや築堤、河道拡幅等の河道改修を行う。

- ・河道改修: 0.3km~0.6km、2.4km~6.8km(一級起点)

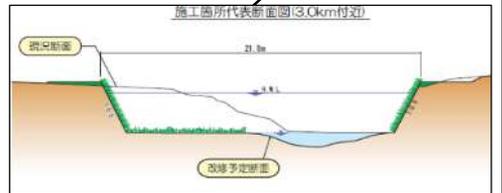
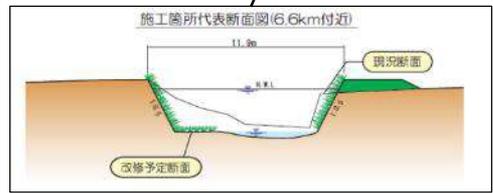
流量配分図



写真



代表断面図



市野川の概要

流域の概要

市野川は、寄居町牟礼付近の丘陵地帯を源とし、中流域で東松山市の市街地を流れ、その後、吉見町、川島町の水田地帯を流下し荒川に合流する。

上流部は里山の中に広がる農耕地の中を流れており、多様な環境が集約する地域となっている。中流部は嵐山町や東松山市等の市街地、農耕地や平地林の中を交互に流下する。

河川名

荒川水系一級河川市野川

市町名

埼玉県東松山市、吉見町、川島町、滑川町
嵐山町、小川町、寄居町

流域面積

146.6 km²

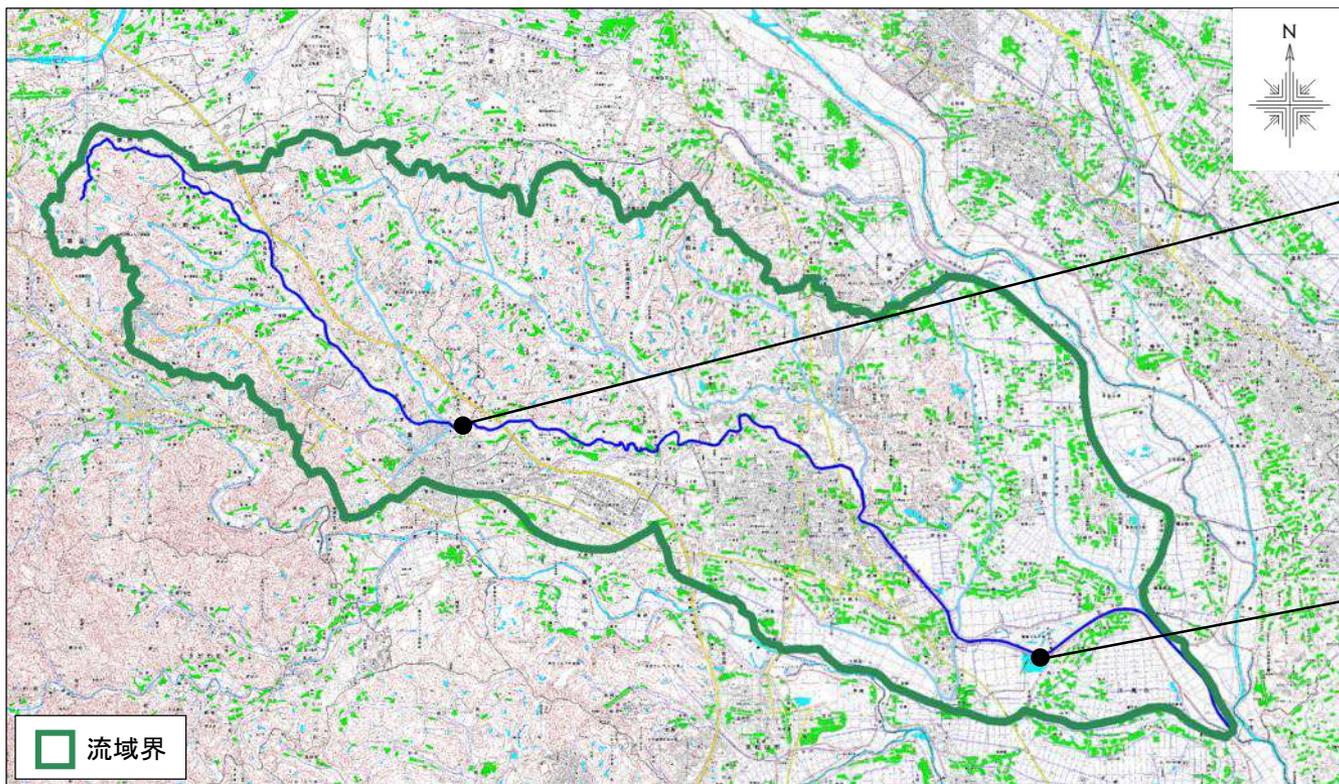
県管理区間河川延長

34.0 km

河床勾配

1/160～1/3,000 程度

流域図・河川沿いの状況



市野川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)【1 / 3】

現行の治水計画

目標

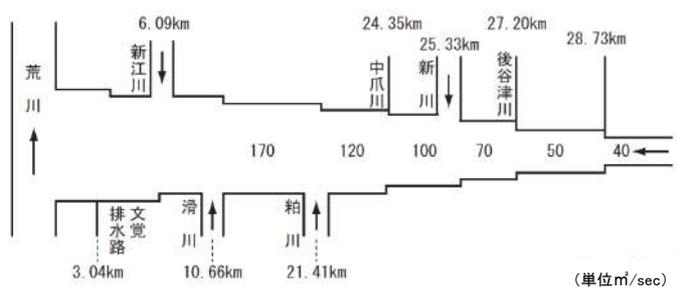
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

堤防の嵩上げや築堤、河道拡幅等の河道改修を行う。
 なお、下流部の荒川水位の影響区間において、堤防断面が不足しているため、堤防を補強する。

- ・堤防補強: 0.0km～6.9km
- ・河道改修: 6.9km～12.4km、16.3km～9.6km

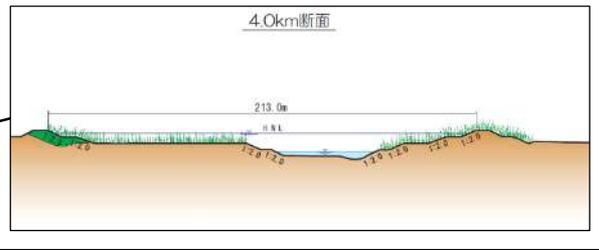
流量配分図



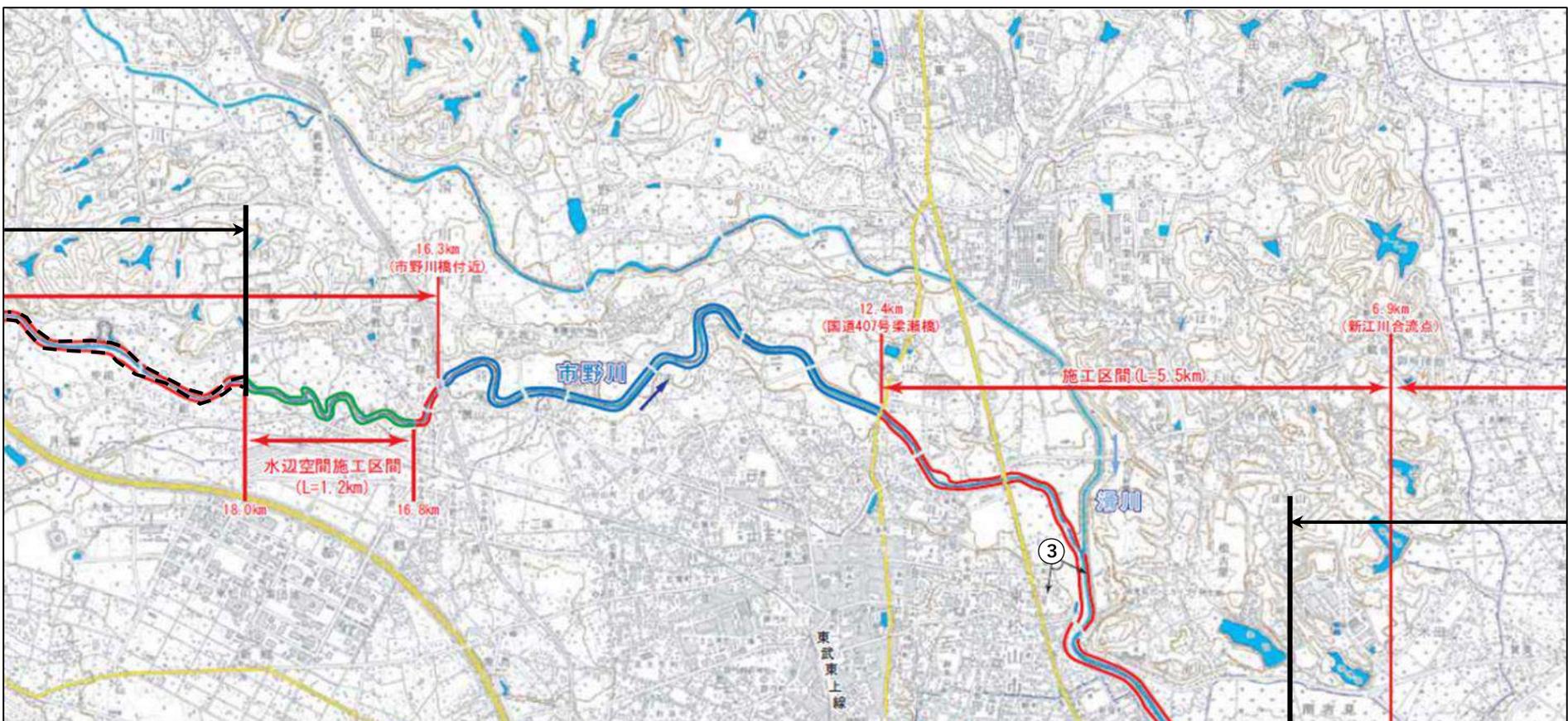
写真



代表断面図



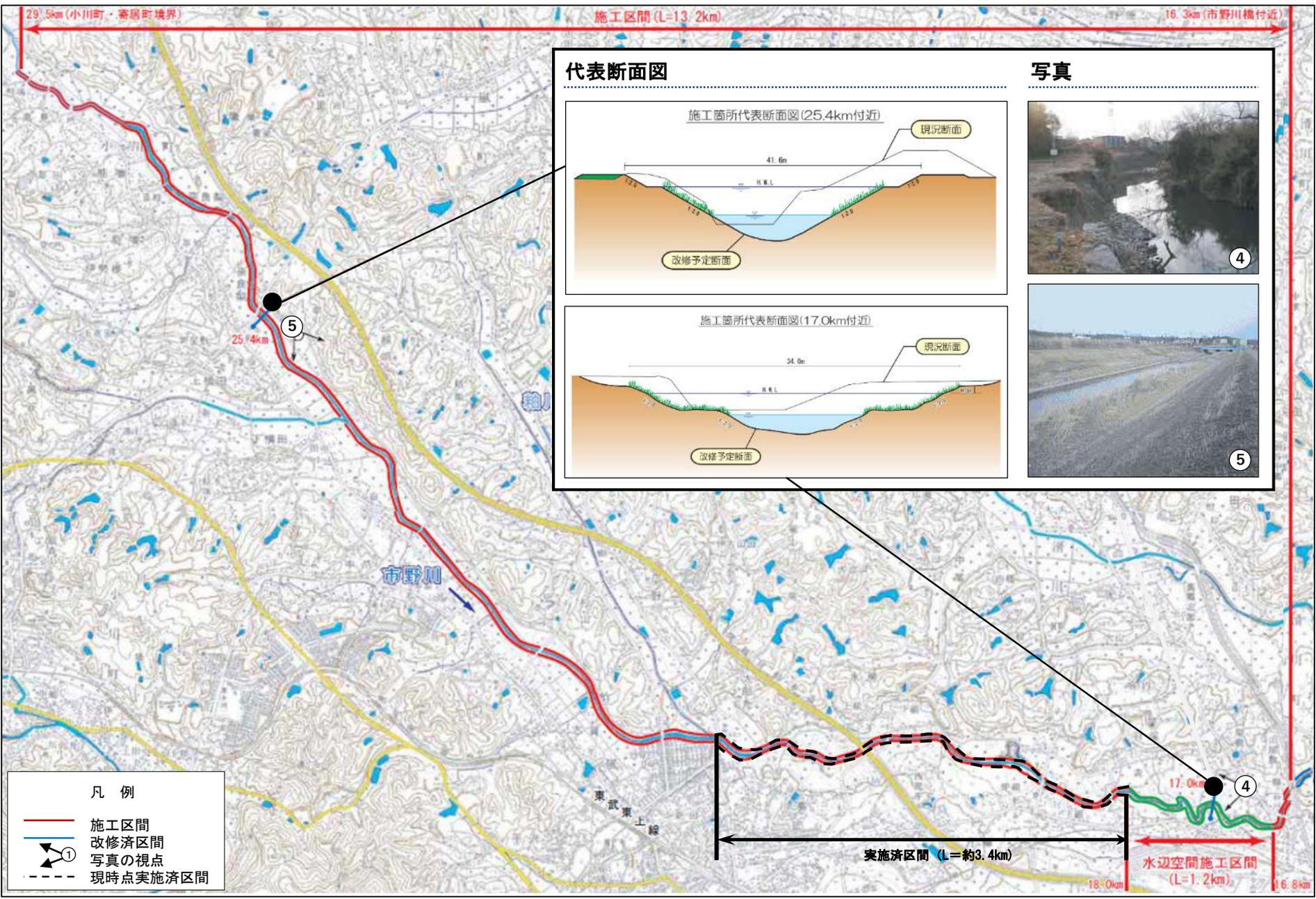
- 凡例
- 施工区間
 - 改修区間
 - ① 写真の視点
 - - - 現時点実施区間



写真

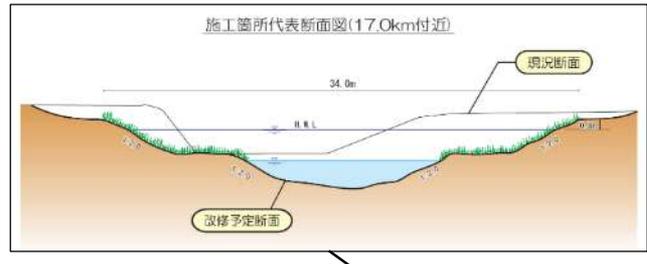
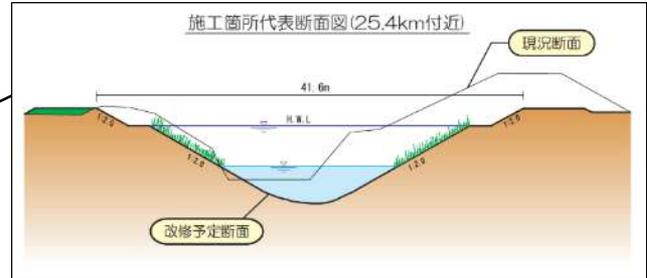


- 凡例
- 施工区間
 - 改修済区間
 - 写真の視点
 - - - 現時点実施済区間



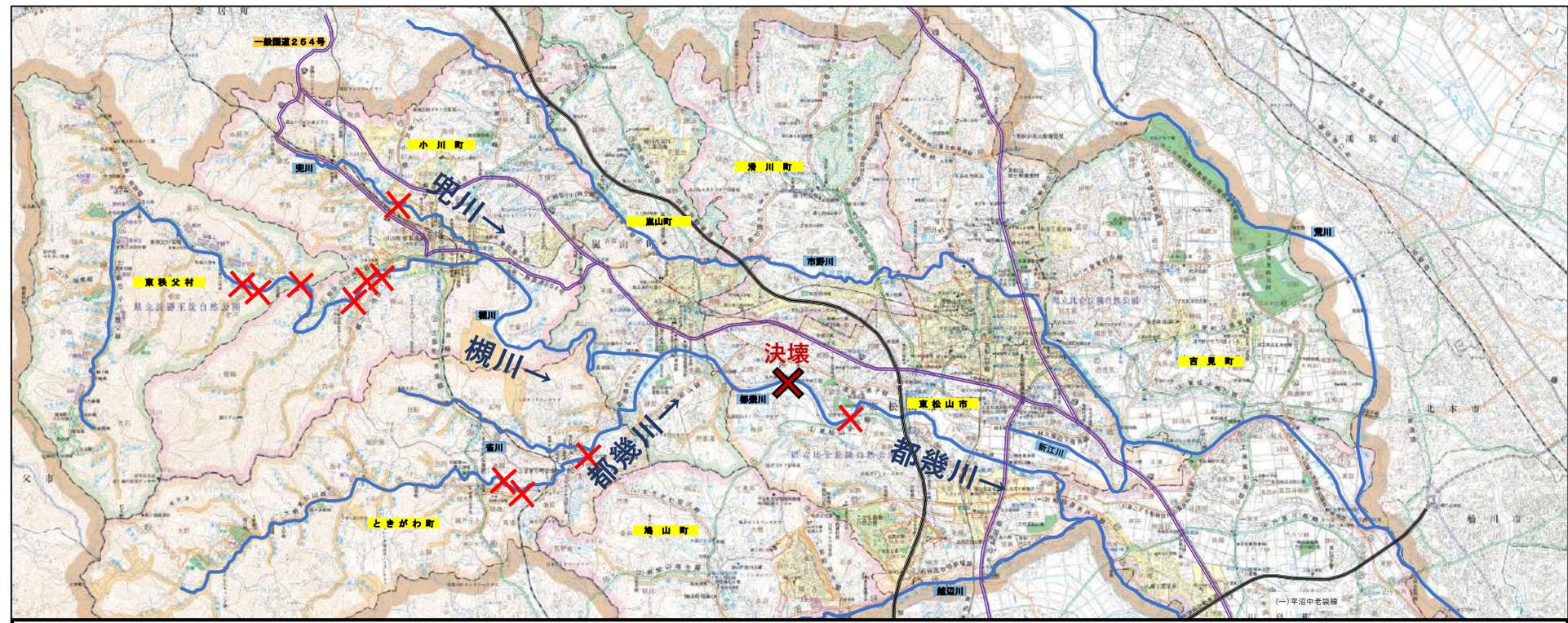
代表断面図

写真



- 凡例
- 施工区間
 - 改修区間
 - 写真の視点
 - - - 現時点実施区間

令和元年東日本台風による被害状況



都幾川



槻川



兜川



		都幾川	槻川	兜川	市野川 (滑川合流地点上流部)
現行計画	計画降雨	152 mm/24h	152 mm/24h	152 mm/24h	152 mm/24h
	確率規模	1/3	1/3	1/3	1/3
	計画高水流量	720 m ³ /s	480 m ³ /s	130 m ³ /s	170 m ³ /s
東日本台風	実績降雨	459 mm/24h	459 mm/24h	459 mm/24h	312 mm/24h
	確率規模	1/250	1/250	1/250	1/65
	被災流量	1,314 m ³ /s	818 m ³ /s	161 m ³ /s	211 m ³ /s
【参考】 下流の流下能力 (計画)		【国管理境】 1,450 m ³ /s	【都幾川上流部】 720 m ³ /s	【槻川合流部】 480 m ³ /s	【滑川合流地点下流区間】 1,100 m ³ /s

変更素案について

	都幾川	槻川	兜川	市野川
計画高水流量 (計画規模)	下流の国管理区間の受入れ可能な流量や東日本台風による被害を踏まえ、現行の計画の確率規模からワンランクアップに相当する流量を計画高水流量とする。			
目標達成のために 必要な治水施設	東日本台風において越水・溢水が生じた箇所を中心に、流下能力が不足する箇所について、河道改修等の流下能力の向上のための対策を実施する。			
※ 目標レベルの維持	<p>河川や地域の特性に応じた河川維持管理の目標や頻度、概ね5年間に実施する具体的な維持管理対策等を記した「河川維持管理計画」を別途定める。</p> <p>堤防、護岸、調節池、排水機場等これらの施設の機能を確保するよう出水期前に適切な頻度で点検・記録を行い、異常や損傷の早期発見、状況の把握に努める。</p> <p>河道の流下断面を確保するよう定期的な測量調査や河川巡視により、堤防河岸や河床の状況把握に努めるとともに、河道断面維持のための土砂掘削、樹木伐採を行う。</p>			
※ 洪水時の 被害軽減	<p>危機管理型ハード対策として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう粘り強い堤防の構築、堤防の漏水・浸透対策や周辺が浸水しても排水機場が、その機能維持をできるよう機場の耐水化対策を進める。</p> <p>円滑かつ迅速な避難のための取組として、ハザードマップやタイムラインの作成のための浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・公表、危機管理型水位計及び河川監視カメラなどによる情報発信を行うとともに、関係市町村と連携して水防災に対する意識の醸成を図っていく。</p> <p>これらの取組み内容は、国・県・市町村等で組織する「埼玉県管理河川の氾濫に関する減災対策協議会」における取組方針に定め実施していく。</p>			
河川環境の 整備と保全	<p>河道の改修やその他の河川施設の整備および維持管理にあたっては、多自然川づくりを基本とし、現況の河床状況を踏まえ、動植物の生息環境となる瀬や淵などの保全回復に努める。河畔林を極力保全するよう努め景観にも配慮する。</p> <p>横断工作物の設置にあたっては、流量を踏まえ魚が遡上しやすい構造を検討する。その他の施設の整備においても動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、必要に応じて現地表土を利用するなどの対策を講じる。</p>			

※ については、上記4河川以外も共通

**(2) 現行の河川整備計画に定める対策の変更
を実施する河川について**

飯盛川・葛川・九十九川・新江川

飯盛川の概要

流域の概要

飯盛川は、日高市の旭ヶ丘を源とし、鶴ヶ島市と坂戸市の市街地を流れ、下流で田園地帯の中を流下し、越辺川に合流している。

流域内はもともと農業地帯であったが、東武沿線の宅地開発が進み、市街化が進んでいる。

河川名 荒川水系一級河川飯盛川

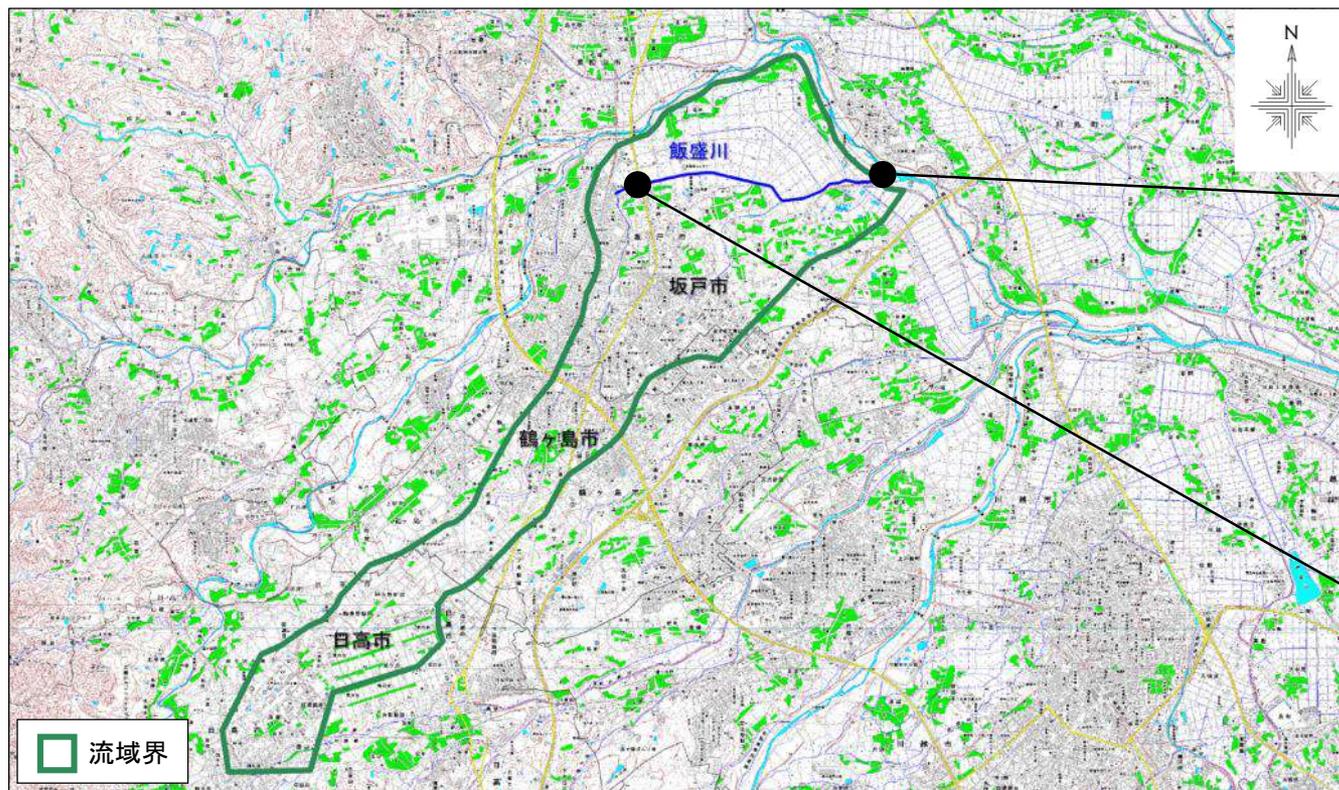
市名 埼玉県坂戸市、鶴ヶ島市、日高市

流域面積 23.5 km²

県管理区間河川延長 4.4 km

河床勾配 1/800 程度

流域図・河川沿いの状況



飯盛川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

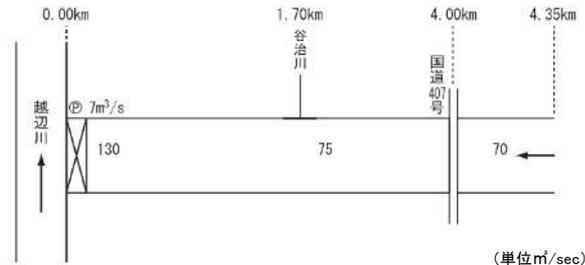
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

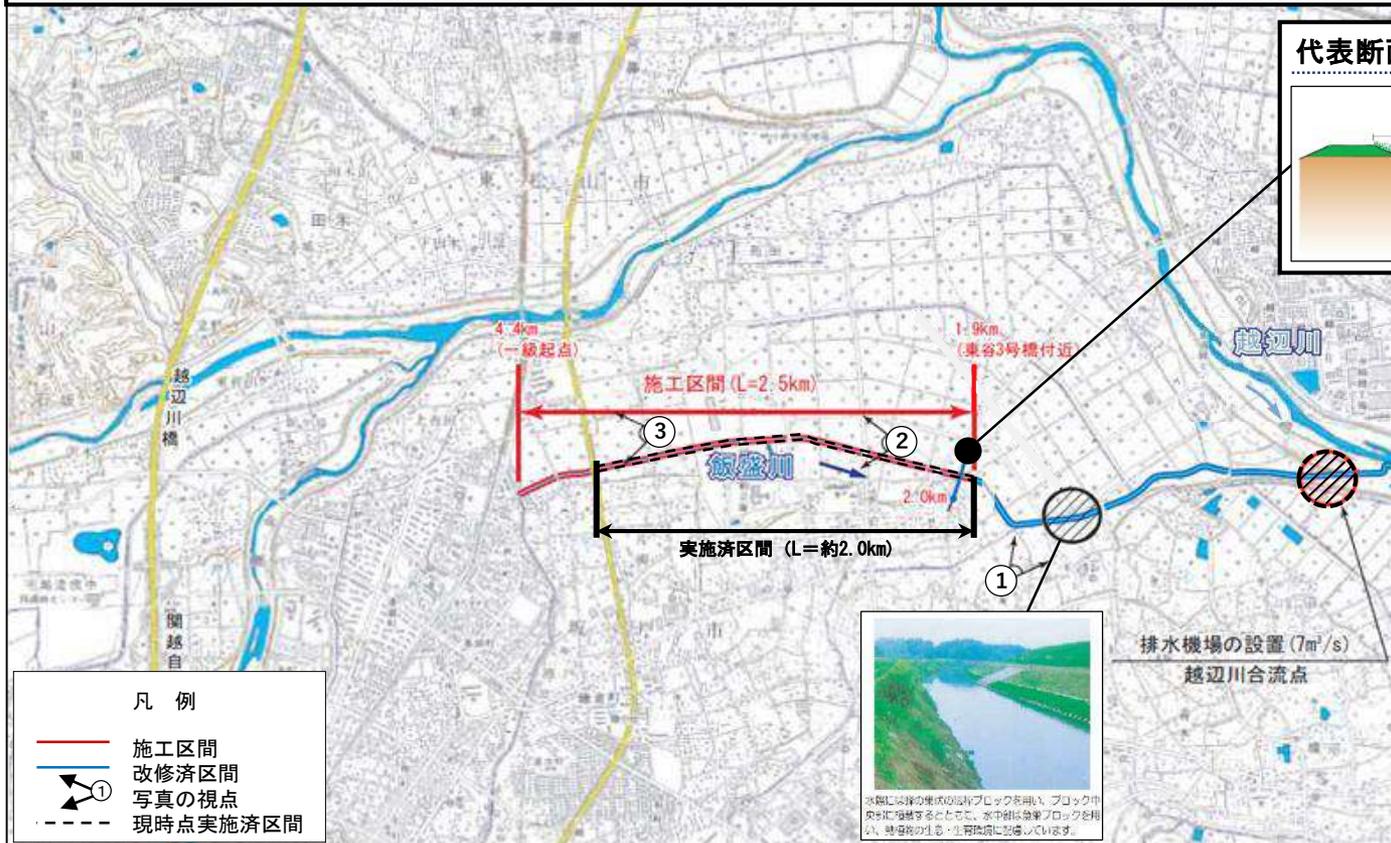
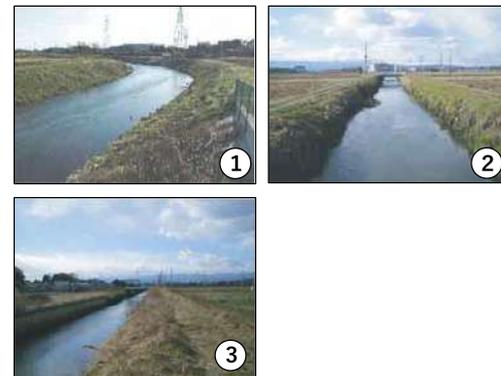
洪水時に本川越辺川の水位が上昇し、その洪水が飯盛川に逆流し、浸水被害が発生していた。この浸水被害解消のために、逆流防止の樋門が国によって整備された。今後は、築堤、河道改修と併せて、越辺川との合流点に、排水機場の整備を行う。

- ・排水機場(内水排除のため)
- ・河道改修: 1.9km~4.4km(一級河川上流端まで)

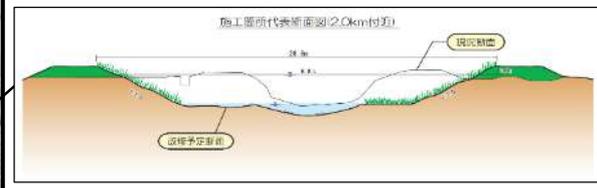
流量配分図



写真



代表断面図



飯盛川排水機場・飯盛川樋門



凡例

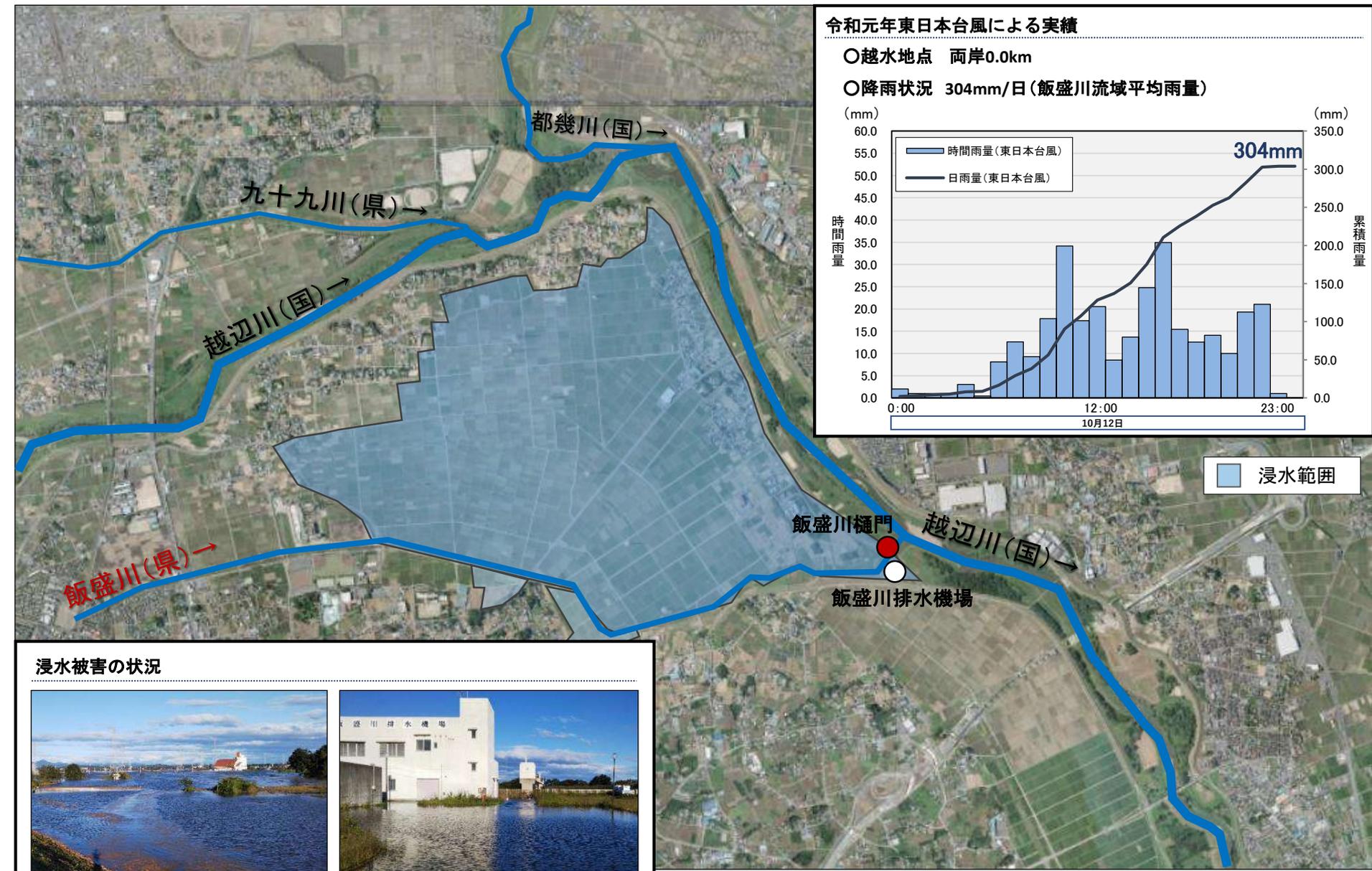
- 施工区間
- 改修済区間
- ① 写真の視点
- - - 現時点実施済区間



本図には緑の地帯の図例ブロックを採り、ブロック中央部に地帯を定めることにより、水質浄化効果ブロックを特に、地帯の土壌・生物環境に配慮しています。

飯盛川における令和元年東日本台風による浸水状況

飯盛川では、流域平均で10月12日の1日間で304mmの降雨を観測し、越辺川との合流点で越水が生じた。



葛川の概要

流域の概要

葛川は、入間川毛呂山町の毛呂山総合公園付近を源とし、JR八高線、東武越生線、関越自動車道を横断し、高麗川に合流している。

流域内のJR八高線及び東武越生線の沿線地域では、もともと農業地域であったが、大規模な宅地開発が進められている。

河川名 荒川水系一級河川葛川

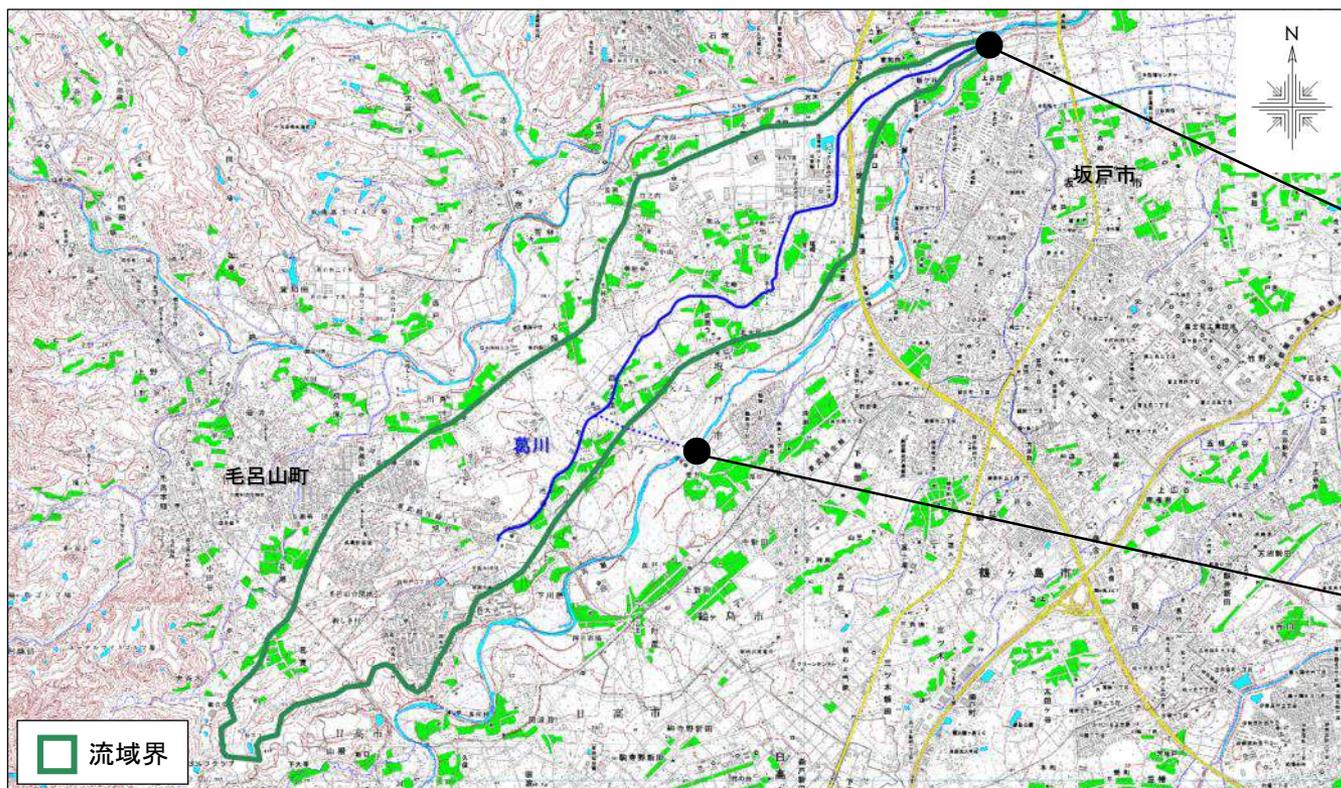
市町名 埼玉県坂戸市、毛呂山町

流域面積 13.3 km²

県管理区間河川延長 7.9 km

河床勾配 1/180～1/1,000 程度

流域図・河川沿いの状況



葛川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

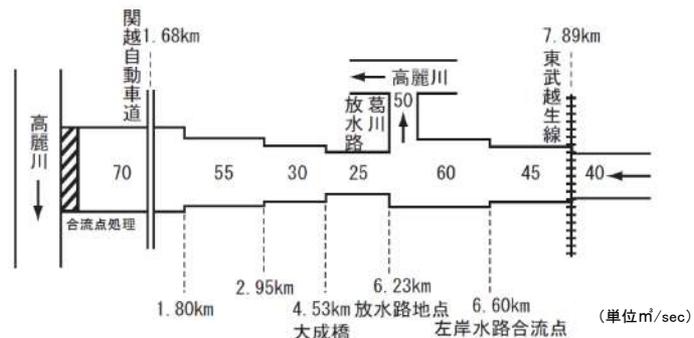
治水計画

築堤、河道拡幅等の河道改修と併せて、放水路を整備し、下流部の洪水流量を軽減する。

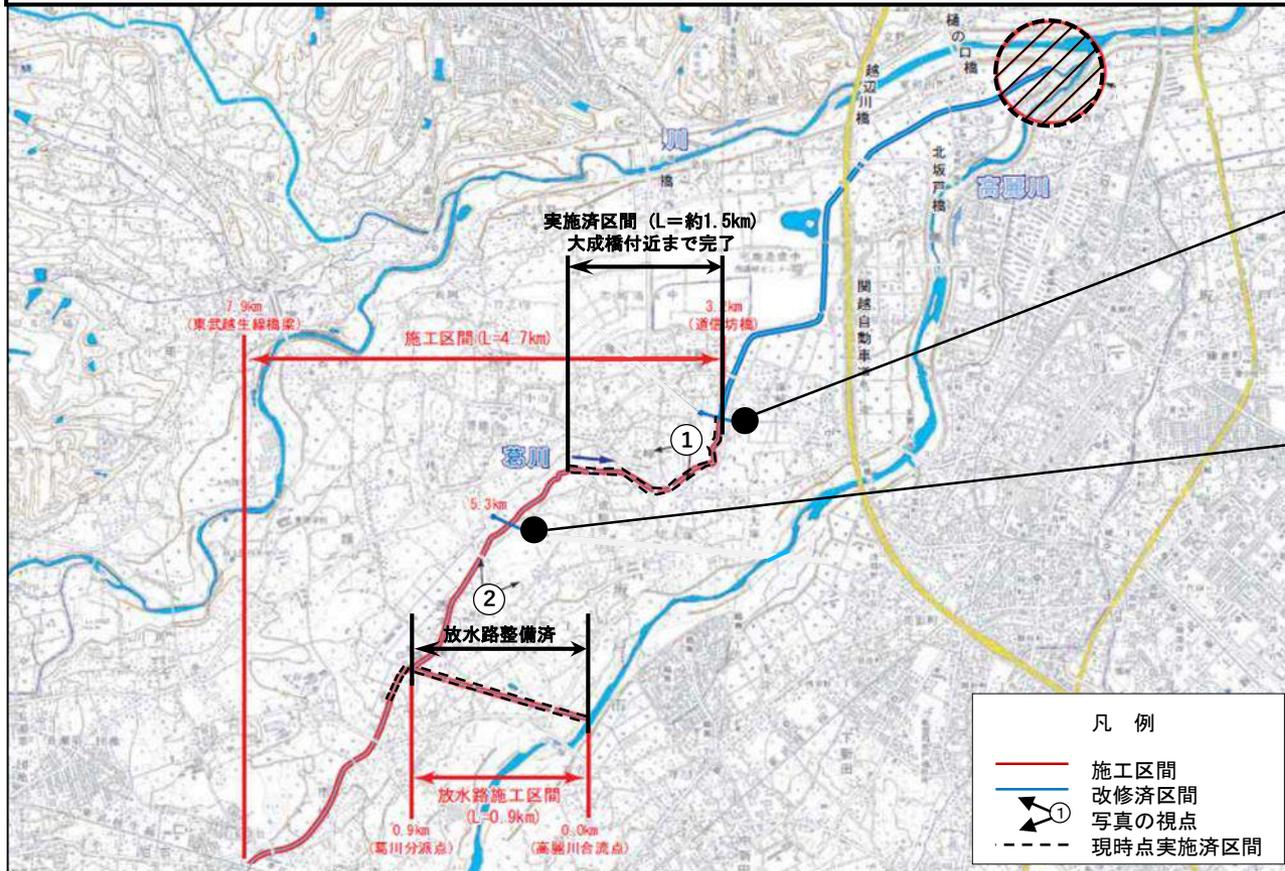
また、越辺川との合流点については、越辺川を管理する国と協力して浸水被害の解消を図る。

- ・合流点処理: 越辺川合流点
- ・河道改修: 3.2km~7.9km
- ・放水路整備: 0.0km~0.9km

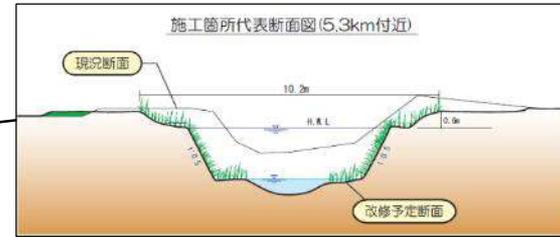
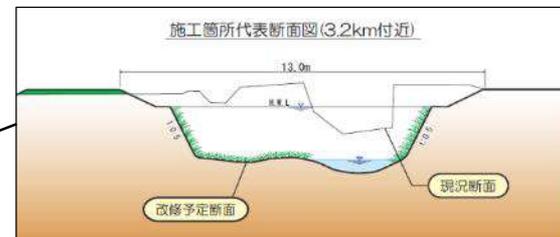
流量配分図



写真



代表断面図

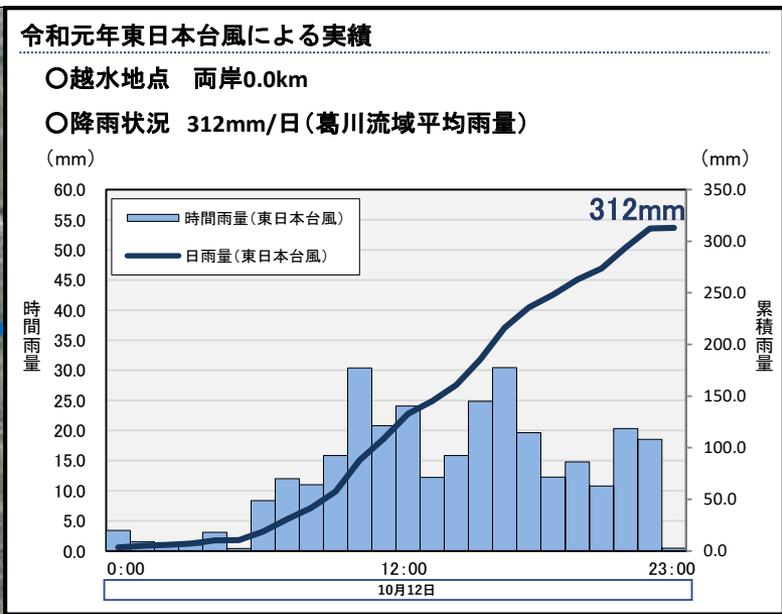
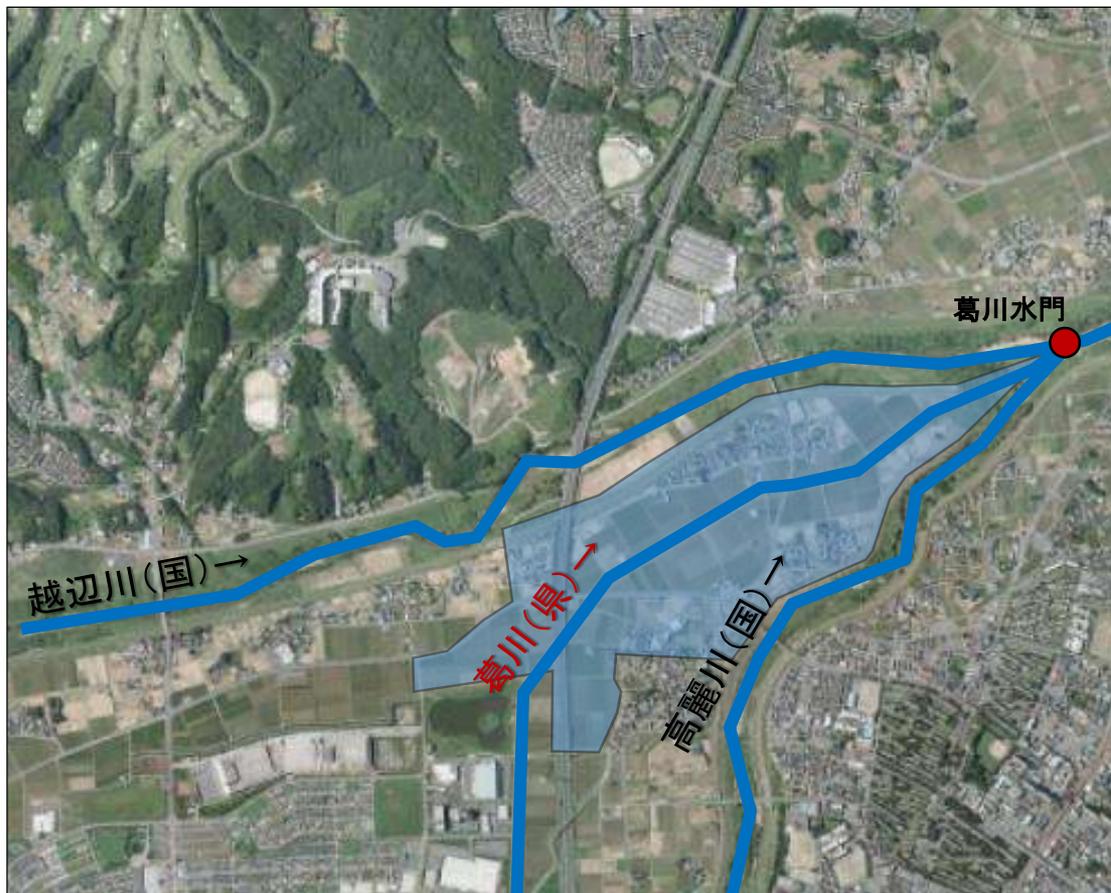


葛川水門・葛川放水路



葛川における令和元年東日本台風による浸水状況

葛川では、流域平均で10月12日の1日間で312mmの降雨を観測し、高麗川との合流点で越水が生じた。



浸水範囲

浸水被害の状況



九十九川の概要

流域の概要

九十九川は、東松山市の岩殿丘陵を源とし、都幾川と越辺川の合流点上流側で越辺川に合流している。

流域は、北と東を都幾川に、南を越辺川に挟まれており、岩殿丘陵と水田地帯で構成され、団地開発が進められている。

上流部は、水田の中を流れ、中流部から下流部にかけては、水田地帯と住宅地の中を蛇行しながら流れている。

河川名 荒川水系一級河川九十九川

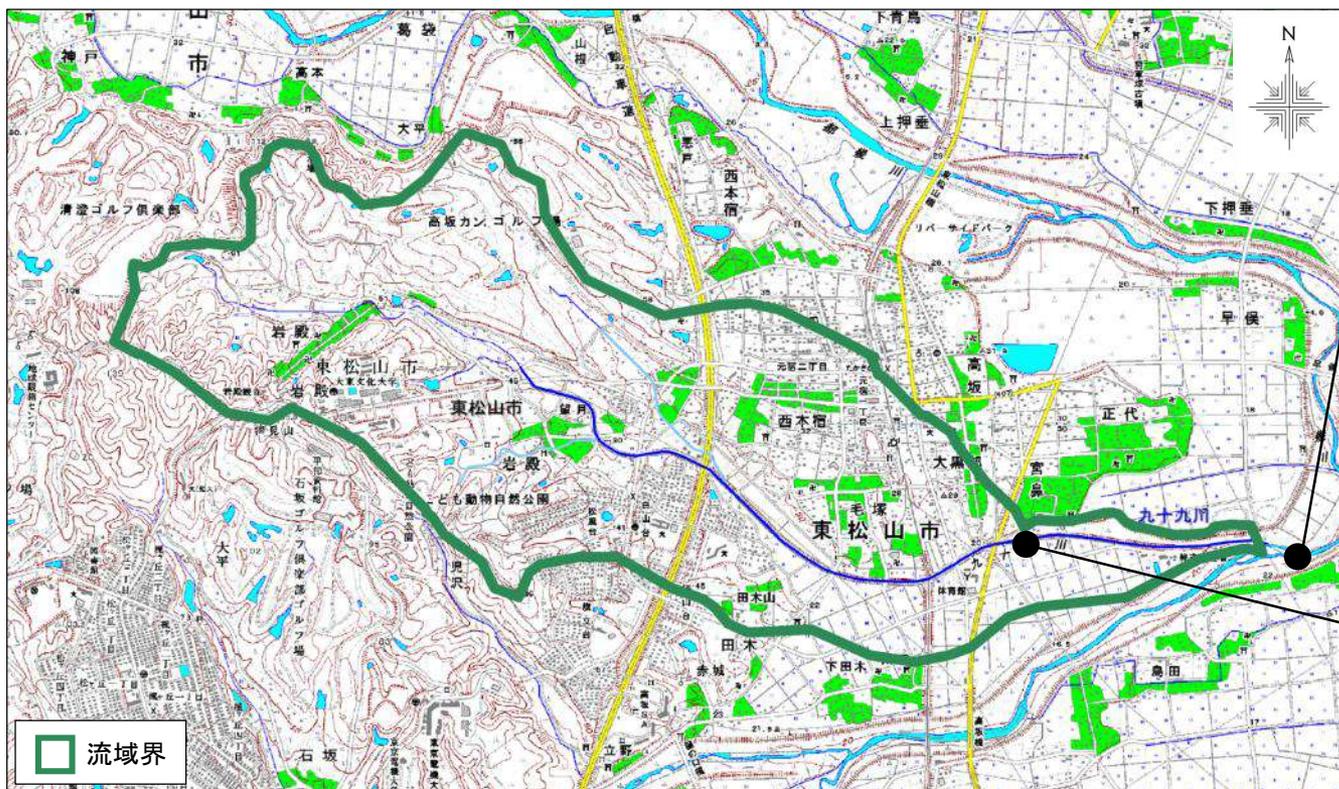
市名 埼玉県東松山市

流域面積 9.4 km²

県管理区間河川延長 5.6 km

河床勾配 1/100~1/1,000 程度

流域図・河川沿いの状況



九十九川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

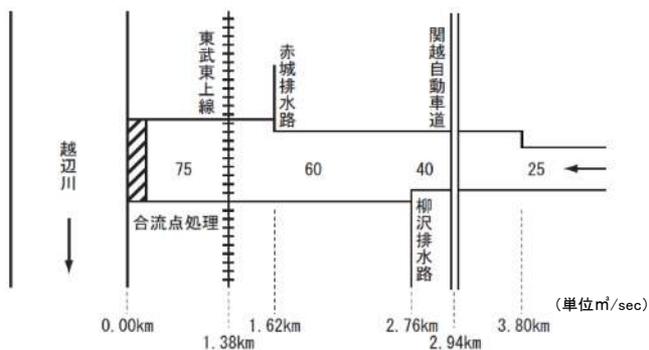
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

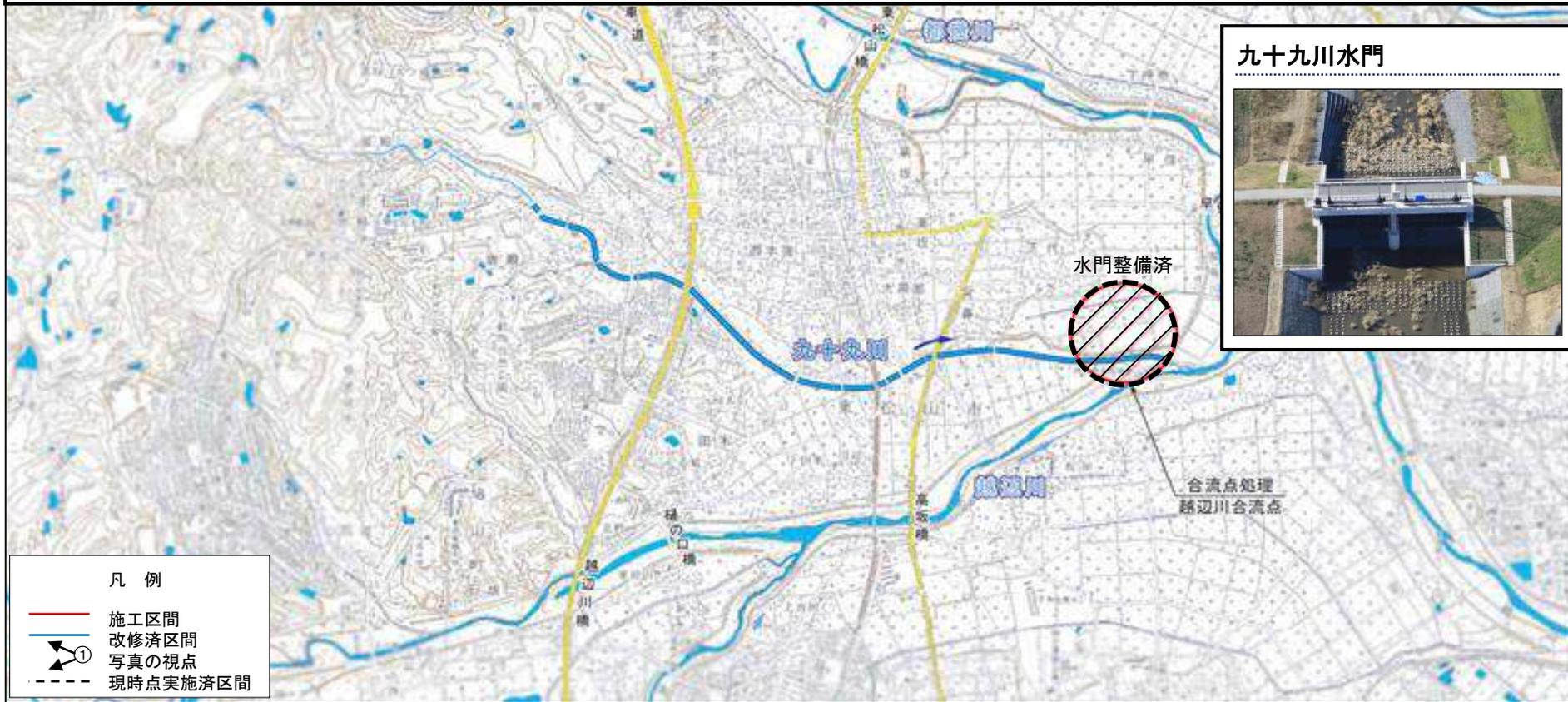
洪水時に本川越辺川の水位が上昇し、越辺川から洪水が逆流することにより、浸水被害が発生している。このため、合流点の整備について、越辺川を管理する国と協力し、浸水被害の解消を図る。

・合流点処理: 越辺川合流点

流量配分図



写真



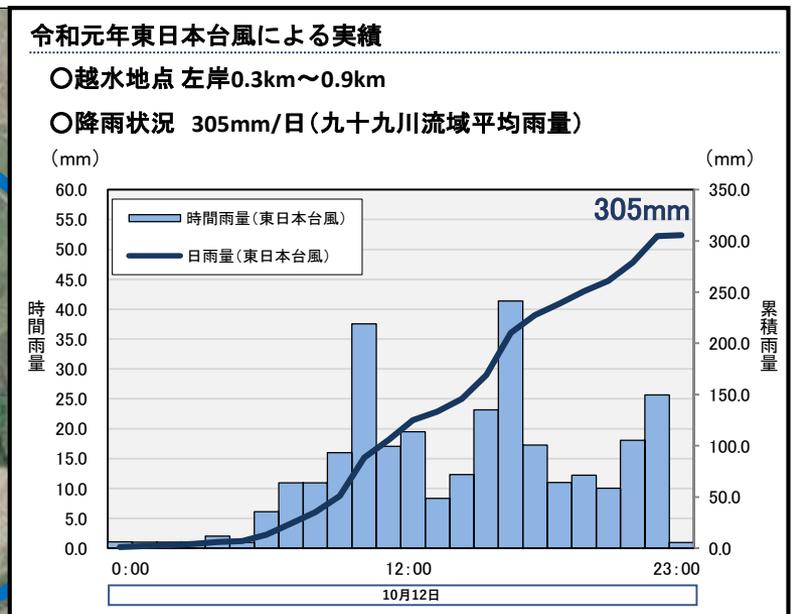
九十九川水門



- 凡例
- 施工区間
 - 改修済区間
 - ① 写真の視点
 - - - 現時点実施済区間

九十九川における令和元年東日本台風による浸水状況

九十九川では、流域平均で10月12日の1日間で305mmの降雨を観測し、越辺川との合流点で越水が生じた。



浸水被害の状況



新江川の概要

流域の概要

新江川は、東松山市の中心市街地の南側を源とし、同市の大字古凍地先において、市野川の右岸に合流している。

流域の上流部は丘陵地帯となっており、中流域から下流域の左岸側は、斜面に沿った住宅地であり、右岸側は水田地帯となっている。

河川名 荒川水系一級河川新江川

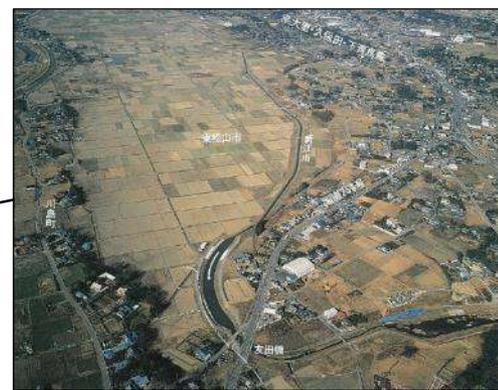
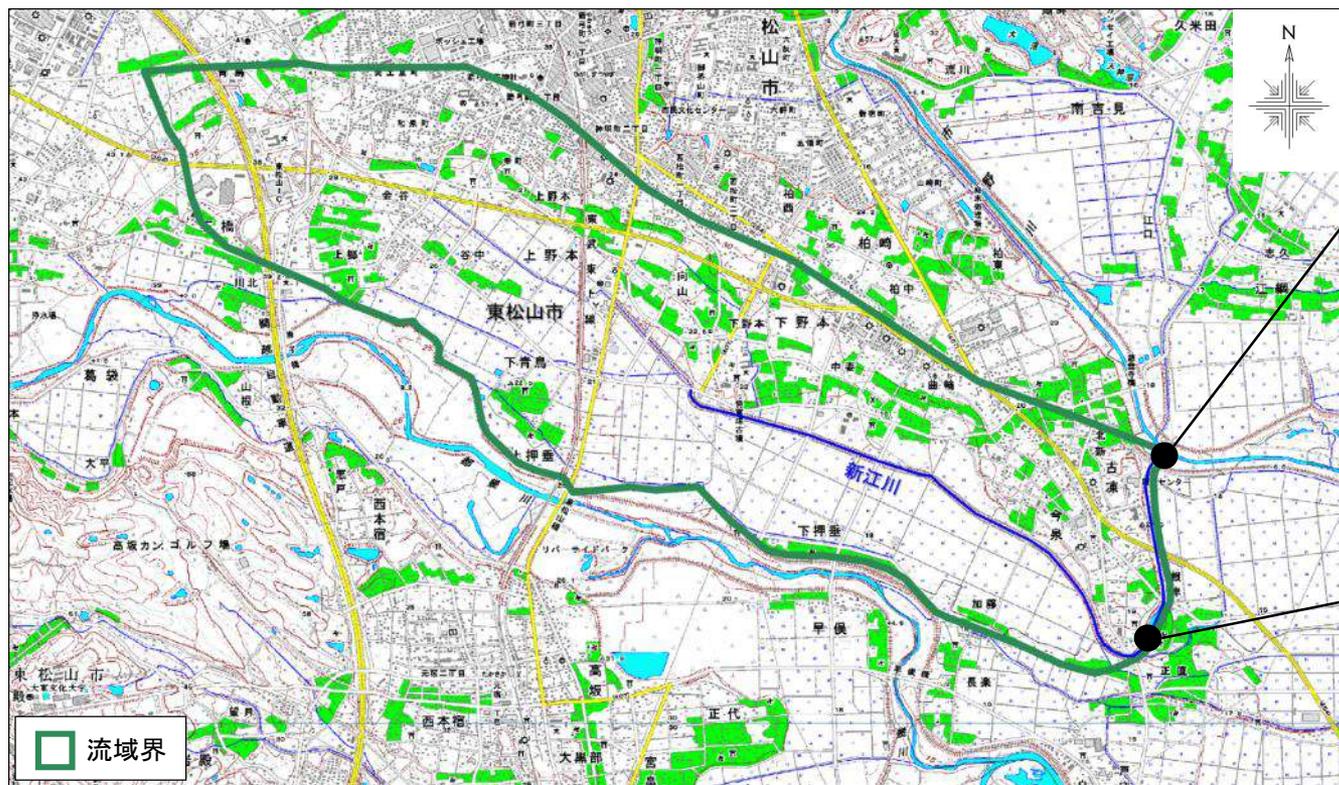
市名 埼玉県東松山市

流域面積 10.9 km²

県管理区間河川延長 4.4 km

河床勾配 1/500～1/2,000 程度

流域図・河川沿いの状況



新江川の現行の河川整備計画(目標と実施内容)

現行の治水計画

目標

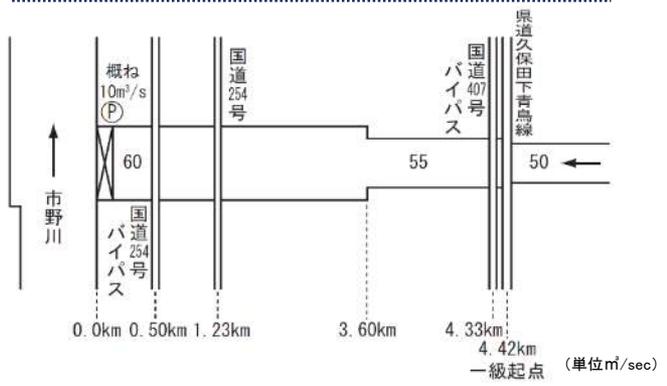
時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水に対して、これを安全に流下させることのできる治水施設の整備を行う。

治水計画

洪水時に本川市野川の水位が上昇し、新江川からの自然排水が困難となることにより、内水被害が発生している。このため、市野川合流点に樋門及び排水機場を整備する。

- ・逆流防止のための樋門設置
- ・排水機場整備(内水排除)

流量配分図



写真



山王樋門



凡例

- 施工区間
- 改修済区間
- ① 写真の視点

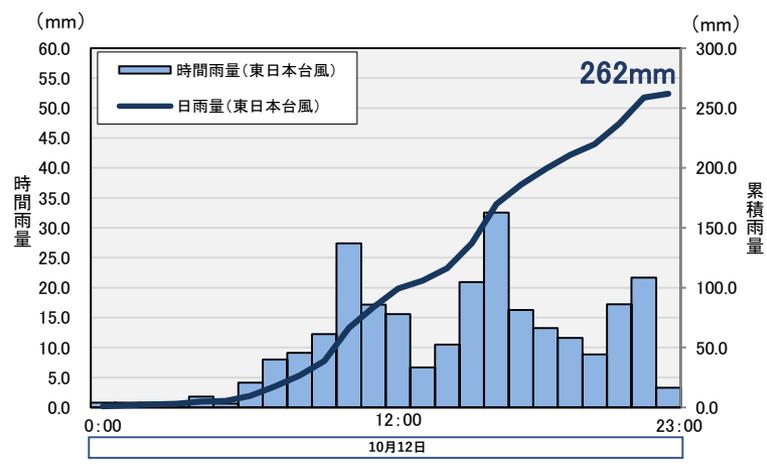
新江川における令和元年東日本台風による浸水状況

新江川では、流域平均で10月12日の1日間で262mmの降雨を観測し、市野川との合流点で越水が生じ、決壊に至った。



令和元年東日本台風による実績

- 決壊地点 右岸0.15km
- 降雨状況 262mm/日 (新江川流域平均雨量)



■ 浸水範囲

浸水被害の状況



決壊地点



地区内の浸水状況

合流点処理計画の検討河川における計画規模の設定

合流先河川の水位波形(外水位)および合流元河川の流域流出量について

合流先河川の水位波形(外水位)の設定について

東日本台風の実績降雨から算定した合流先河川の現況河道での水位波形をもとに、合流先河川の河道整備を考慮し、ピーク水位が計画高水位以下となるようスライドした水位波形を設定する。

合流元河川の流域流出量の設定について

現行の計画規模や東日本台風における水門閉鎖時間内の貯留量を考慮した上で、東日本台風の実績降雨波形を基に、合流点処理計画における計画規模を10年に1回程度発生する降雨とし、その降雨波形から流域流出量を設定する。

【参考】

県管理河川における合流点処理計画の計画規模一覧

計画規模	1/ 3	1/ 10	1/ 30	1/ 50
河川数	16	7	2	1

荒川中流右岸ブロックの合流点処理計画の検討

①対策案の提示、比較、評価(一次選定)

治水対策案より、具体的な達成目標に対して目的、効果が適応するメニューを一次選定により抽出

【治水対策案の立案(河川を中心とした対策)】

河川整備メニュー	方策	適用性	抽出の有無
	ダム(新規)	流域内に有効となる適地が存在しないことから採用しない。	×
	ダムの有効活用	流域内に既存ダムが存在していないため採用しない。	×
	調節池(遊水地)	水門閉鎖に伴い溢水・越水した洪水を貯留することが出来るため、土地利用状況等を踏まえつつ、治水効果を発揮できる候補地を検討する。	○
	放水路(分水路)	放水路(分水路)から河川合流部までの流量を低減させることが出来るため、放水路が設置でき、治水効果が発揮できるルートを選定し検討する。	○
	河道の掘削	河積を増やすことで河道内の貯留量の増加が見込めるため、流下断面及び縦断方向の河床高の状況を踏まえて検討する。	○
	河道内樹木の伐採	河積を増やすことで河道内の貯留量の増加が見込めるため、流下断面及び縦断方向の河床高の状況を踏まえて検討する。	○
	引堤	河積を増やすことで河道内の貯留量の増加が見込めるため、用地補償及び横断工作物の状況を踏まえ検討する。	○
	堤防嵩上げ	河積を増やすことで河道内の貯留量の増加が見込めるため、現況の河川整備の状況を踏まえて検討する。	○
	決壊しない堤防	流下能力の向上や、貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	決壊しづらい堤防	流下能力の向上や、貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	高規格堤防	流下能力の向上や、貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
排水機場	水門閉鎖後に溜まった内水を本川に強制的に排水することが出来るため、関係機関との協議を通じて排水機場の新設や既設の排水機場(飯盛川排水機場)の増強を検討する。	○	

荒川中流右岸ブロックの合流点処理計画の検討

①対策案の提示、比較、評価(一次選定)

治水対策案より、具体的な達成目標に対して目的、効果が適応するメニューを一次選定により抽出

【治水対策案の立案(流域を中心とした対策)】

流域対策メニュー	方策	適用性	抽出の有無
	雨水貯留施設	流域内の学校や公園等に雨水貯留施設を整備する。	○
	雨水浸透施設	流域内の学校や公園等に雨水浸透施設を整備する。	○
	遊水機能を有する土地の保全	河川流入前の内水の貯留を見込める土地について保全を推進する。	○
	部分的に低い堤防の存置	貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	霞堤の存置	貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	輪中堤	貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	二線堤	貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	樹林帯等	貯留量の増加、排水能力の向上につながらないため採用しない。	×
	宅地の嵩上げ ピロティ建築等	関係機関と調整等を行う。	○
	土地利用規制	関係機関と調整等を行う。	○
	水田等の保全	全ての治水対策案に共通して別途推進すべきものである。	—
	森林の保全	全ての治水対策案に共通して別途推進すべきものである。	—
	洪水の予測情報の提供	全ての治水対策案に共通して別途推進すべきものである。	—
水害保険等	全ての治水対策案に共通して別途推進すべきものである。	—	

荒川中流右岸ブロックの合流点処理計画の検討

②対策案の提示、比較、評価(二次選定)

一次選定した治水対策を組み合わせた複数の治水対策案(A~F)について、具体的な達成目標を達成可能で、実現可能な案であるかの観点で二次選定を行い、総合評価を行う案を抽出

【概略評価比較】

治水対策案			実現可能性				抽出結果
			飯盛川	葛川	九十九川	新江川	
A	調節池(遊水地)	河川の合流部付近に調節池(遊水地)を設置する。					○
B	放水路(分水路)	各川から合流先河川に放水路を設置し、放水路下流の流量を減少させる。	放流先となる越辺川の水位が高く、本川に自然排水ができない。	平成21年整備済	放流先となる越辺川の水位が高く、本川に自然排水ができない。	放流先となる越辺川や都幾川の水位が高く、本川に自然排水ができない。	×
C	引堤+河道の掘削+河道内樹木の伐採	河川合流部付近の引堤と河床掘削、河道内樹木の伐採を実施し、水門閉鎖後における河道内の洪水貯留量を増加させる。	水門・樋門が既に設置されているため、合流部付近で引堤を行うことにより、手戻りが生じる。また、河道内の洪水貯留量は増加するが、必要な貯留量に対して効果量が少ない。				×
D	堤防嵩上げ	本川からの背水区間において、本川と同程度の堤防高・強度を持った背水堤を整備する。	水門・樋門が既に設置されているため、背水堤の整備により、撤去が必要となる。また、現行の河川整備計画の改修済区間において、新たに堤防嵩上げ(3~5m)を行う必要があるため手戻りが生じる。				×
E	排水機場	排水機場の新設及び既存の排水機場(飯盛川排水機場)の増強を行う。					○
F	排水機場+調節池(遊水地)	排水機場の新設・増強と河川の合流部付近に調節池(遊水地)を整備をする。					○

(流域対策メニューは、河川への流出量の抑制や流域の浸水被害の軽減に寄与するため、すべての治水対策案に対して共通に実施することとする。)

荒川中流右岸ブロックの合流点処理計画の検討

②対策案の提示、比較、評価(二次選定)

【詳細評価比較】

A	E	F
<p align="center">調節池(遊水地)+流域対策メニュー</p>	<p align="center">排水機場+流域対策メニュー</p>	<p align="center">排水機場+調節池(遊水地)+流域対策メニュー</p>
<p>河川の合流部付近に調節池(遊水地)を設置し、水門閉鎖後の内水を貯留する。</p>	<p>排水機場の新設及び既設の排水機場の増強を実施し、水門閉鎖後の内水の排水量を増加させる。</p>	<p>排水機場の新設及び既設の排水機場の増強と河川の合流部付近に調節池(遊水地)を整備する。</p>
<p>【調節池(遊水地)計4箇所】 飯盛川: 1箇所 葛川: 1箇所 九十九川: 1箇所 新江川: 1箇所</p>	<p>【排水機場 新設3箇所・増強1箇所】 飯盛川: 飯盛川排水機場の増強 葛川: 新設 九十九川: 新設 新江川: 新設</p>	<p>【排水機場 新設3箇所・増強1箇所】 【調節池(遊水地)計4箇所】 飯盛川: 飯盛川排水機場の増強+調節池(遊水地) 1箇所 葛川: 排水機場の新設+調節池(遊水地) 1箇所 九十九川: 排水機場の新設+調節池(遊水地) 1箇所 新江川: 排水機場の新設+調節池(遊水地) 1箇所</p>
<p align="center">凡例</p> <p align="center">○ 調節池(遊水地)</p>	<p align="center">凡例</p> <p align="center">○ 排水機場の新設 ○ 排水機場の増強</p>	<p align="center">凡例</p> <p align="center">○ 調節池(遊水地) ○ 排水機場の増強 ○ 排水機場の新設</p>
<p>治水対策案概要(例:飯盛川)</p> <p align="center">調節池(遊水地)の整備</p> <p align="right">(単位 m³/sec)</p>	<p>治水対策案概要(例:飯盛川)</p> <p align="center">7 m³/s → 増強</p> <p align="right">(単位 m³/sec)</p>	<p>治水対策案概要(例:飯盛川)</p> <p align="center">7 m³/s → 増強</p> <p align="right">(単位 m³/sec)</p>

荒川中流右岸ブロックの合流点処理計画の検討

二次選定により抽出された治水対策案の総合評価

項目	A	E	F
	調節池(遊水地)	排水機場	排水機場+調節池(遊水地)
治水安全度	<ul style="list-style-type: none"> 整備により目標とする治水安全度が確保される。 事業化効果は、事業完了時点で発現される。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備により目標とする治水安全度が確保される。 事業化効果は、事業完了時点で発現される。 本川水位が計画高水位を上回った場合等に運転を停止しなければならない場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備により目標とする治水安全度が確保される。 事業化効果は、事業完了時点で発現される。 超過洪水時等に排水機場の運転が停止しても調節池(遊水地)で洪水の受入れが可能となる。
コスト	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な用地買収費・補償費が必要となる。 調節池(遊水地)面積分の維持管理をする必要があるため、維持管理費も多く要すると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> A、F案と比べて、用地買収費・補償費は少ない。 排水機場の日常的な点検や耐用年数に応じた施設の更新費がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 用地買収費・補償費が必要となるが、A案より少ない。 調節池(遊水地)面積分の維持管理費がかかるが、A案より少ない。 排水機場の日常的な点検や耐用年数に応じた施設の更新費がかかるが、E案より少ない。
実現性	<ul style="list-style-type: none"> 法制度上、技術上の観点から実現性の隘路となる要素はない。 調節池(遊水地)整備のための用地買収への地域の理解等が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 法制度上、技術上の観点から実現性の隘路となる要素はない。 既存施設(水門・排水機場)の活用が可能であり、手戻りが生じない。 	<ul style="list-style-type: none"> 法制度上、技術上の観点から実現性の隘路となる要素はない。 既存施設(水門・排水機場)の活用が可能であり、手戻りが生じない。 調節池(遊水地)整備のための用地買収への地域の理解等が必要。
持続性	<ul style="list-style-type: none"> 調節池(遊水地)の面積分の維持管理が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場のポンプ等設備の定期的な点検と耐用年数に応じた更新が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場のポンプ等設備の定期的な点検と耐用年数に応じた更新が必要であるがE案より少ない。 調節池(遊水地)の面積分の維持管理が必要であるがA案より少ない。
柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> 調節池(遊水地)の形状については、一定程度柔軟に対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場の規模は、合流先河川の受入れ可能量に制約される。 	<ul style="list-style-type: none"> 排水機場の規模は、合流先河川の受入れ可能量に制約される。 調節池(遊水地)の形状については、一定程度柔軟に対応できる。
地域社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> 施工中は工事車両等の通行等により、周辺地域に影響が生じることが想定されるが、範囲は限定的と考えられる。 大規模な用地が必要となり、地域社会への影響が大きい。 治水安全度の向上が地域振興に資すると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施工中は工事車両等の通行等により、周辺地域に影響が生じることが想定されるが、範囲は限定的と考えられる。 治水安全度の向上が地域振興に資すると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施工中は工事車両等の通行等により、周辺地域に影響が生じることが想定されるが、範囲は限定的と考えられる。 大規模な用地が必要となるが、A案より小さい。 治水安全度の向上が地域振興に資すると考えられる。
環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> 周囲堤等の整備により景観が変化するが、影響は限定的であると考えられる。 周辺の動植物の生息・生育環境に影響を与える可能性はあるものの、限定的であり、長期的には生息・生育環境を形成できる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の動植物の生息・生育環境に影響を与える可能性は少ないと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲堤等の整備により景観が変化するが、影響は限定的であると考えられる。 周辺の動植物の生息・生育環境に影響を与える可能性はあるものの、限定的であり、長期的には生息・生育環境を形成できる場合がある。
総合評価	—	—	○

対策方針

【F】排水機場+調節池(遊水地)案が妥当

(原案の段階において、具体的コストを算定した上で最終的な判断をする。)

	飯盛川	葛川	九十九川	新江川
合流点処理計画 (計画規模)	水門閉鎖時間中の降雨量や貯留量を考慮した上で、10年に1回程度発生する降雨とする。			
目標達成のために 必要な治水施設	水門閉鎖時間中の貯留量を確保するための調節池(遊水池)と水門閉鎖時間中に本川へ強制排水するための排水機場を整備する。			
※ 目標レベルの維持	<p>河川や地域の特性に応じた河川維持管理の目標や頻度、概ね5年間に実施する具体的な維持管理対策等を記した「河川維持管理計画」を別途定める。</p> <p>堤防、護岸、調節池、排水機場等これらの施設の機能を確保するよう出水期前に適切な頻度で点検・記録を行い、異常や損傷の早期発見、状況の把握に努める。</p> <p>河道の流下断面を確保するよう定期的な測量調査や河川巡視により、堤防河岸や河床の状況把握に努めるとともに、河道断面維持のための土砂掘削、樹木伐採を行う。</p>			
※ 洪水時の 被害軽減	<p>危機管理型ハード対策として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう粘り強い堤防の構築、堤防の漏水・浸透対策や周辺が浸水しても排水機場が、その機能維持をできるよう機場の耐水化対策を進める。</p> <p>円滑かつ迅速な避難のための取組として、ハザードマップやタイムラインの作成のための浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・公表、危機管理型水位計及び河川監視カメラなどによる情報発信を行うとともに、関係市町村と連携して水防災に対する意識の醸成を図っていく。</p> <p>これらの取組み内容は、国・県・市町村等で組織する「埼玉県管理河川の氾濫に関する減災対策協議会」における取組方針に定め実施していく。</p>			
河川環境の 整備と保全	<p>河道の改修やその他の河川施設の整備および維持管理にあたっては、多自然川づくりを基本とし、現況の河床状況を踏まえ、動植物の生息環境となる瀬や淵などの保全回復に努める。河畔林を極力保全するよう努め景観にも配慮する。</p> <p>横断工作物の設置にあたっては、流量を踏まえ魚が遡上しやすい構造を検討する。その他の施設の整備においても動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、必要に応じて現地表土を利用するなどの対策を講じる。</p>			

※ については、上記4河川以外も共通

**(3) 現行の河川整備計画に新たな対策を
位置づける河川について**

入間川・高麗川

入間川の概要

流域の概要

入間川は奥武蔵山地を源とし、途中、有間川、中藤川、成木川及び霞川の各支川を入れながら流下し、関越自動車道横断地点を境として国管理区間となり、そこで入間川水系の他の4河川と合流し、川越市古谷本郷で荒川本川と合流する。

流下形態は飯能市街地付近までは山地河川として流れ、下流は平地河川となる。

河川名

荒川水系一級河川入間川

市名

埼玉県川越市、狭山市、鶴ヶ島市、入間市
日高市、飯能市（埼玉県内のみ）

流域面積

224.4 km²

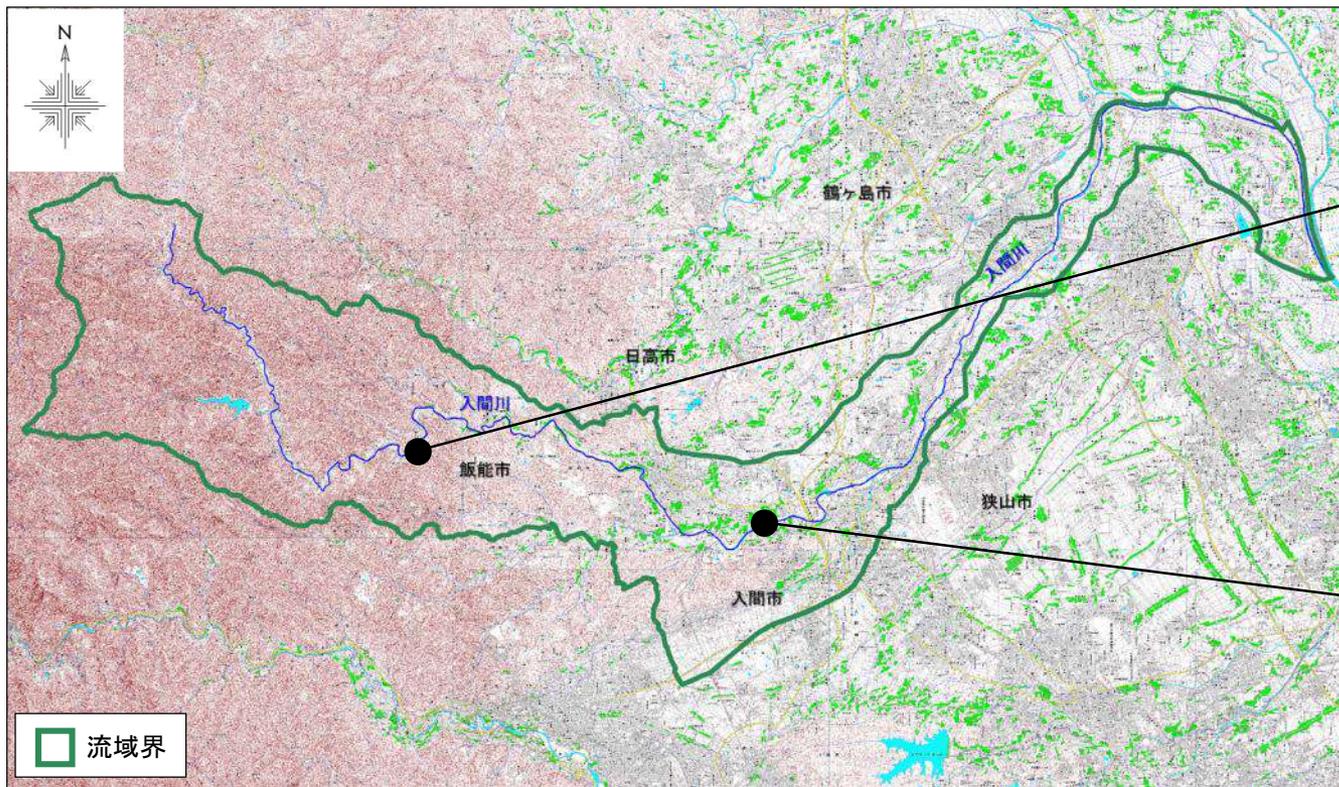
県管理区間河川延長

36.98 km(関越自動車道入間橋上流より)

河床勾配

1/145～1/500 程度

流域図・河川沿いの状況



高麗川の概要

流域の概要

高麗川は、埼玉県西南部の刈場坂峠付近に源を発し、飯能市の山岳地帯を南東に流下しつつ、途中一級河川北川、一級河川宿谷川と合流して、更に毛呂山町、坂戸市を貫流して一級河川越辺川へ流下する。

河川名 荒川水系一級河川入間川

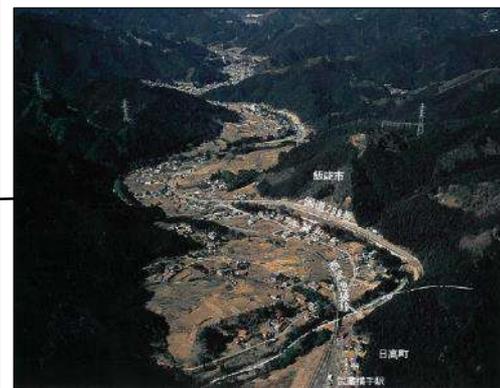
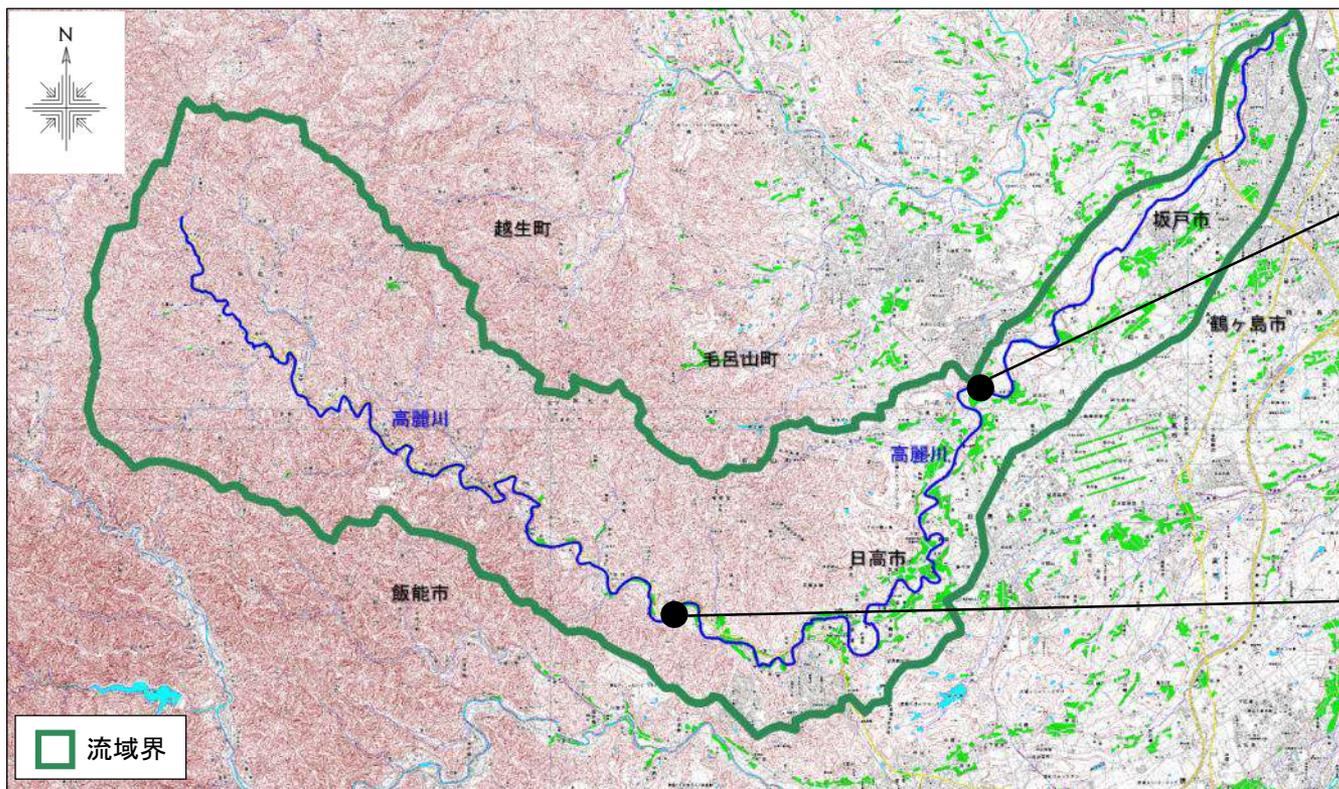
市町名 埼玉県坂戸市、日高市、飯能市、鶴ヶ島市
毛呂山町

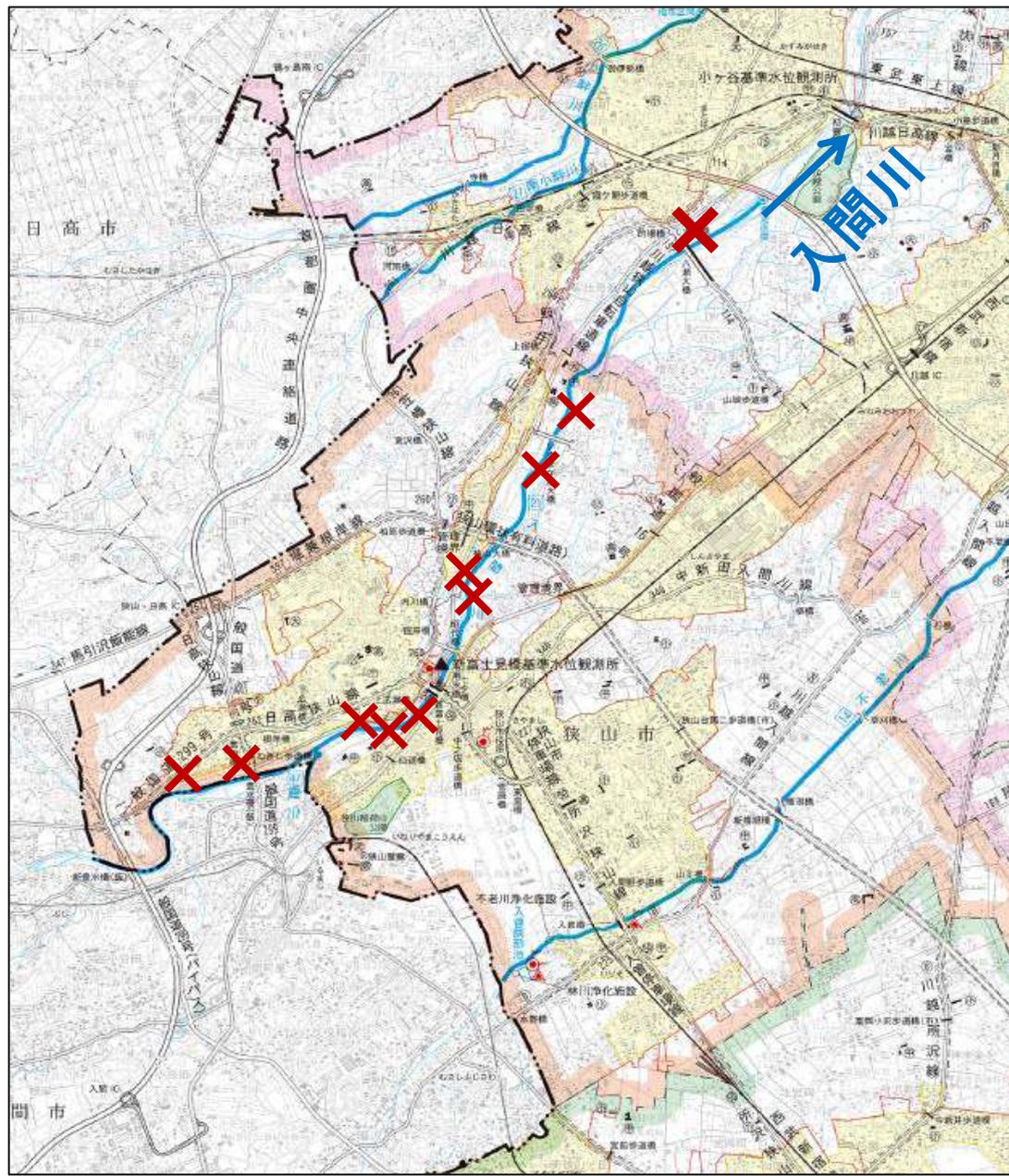
流域面積 95.93 km²

県管理区間河川延長 35.2 km(最下流6.4km上流より県管理区間)

河床勾配 1/100~1/300 程度

流域図・河川沿いの状況





入間川



令和元年東日本台風による被害状況【2 / 2】



入間川

高麗川



	入間川	高麗川
計画高水流量 (計画規模)	下流の国管理区間の受入れ可能な流量や東日本台風による被害を踏まえ、計画高水流量を設定する。	
目標達成のために 必要な治水施設	東日本台風において越水・溢水が生じた箇所を中心に、流下能力が不足する箇所について、河道改修等の流下能力の向上のための対策を実施する。	
※ 目標レベルの維持	<p>河川や地域の特性に応じた河川維持管理の目標や頻度、概ね5年間に実施する具体的な維持管理対策等を記した「河川維持管理計画」を別途定める。</p> <p>堤防、護岸、調節池、排水機場等これらの施設の機能を確保するよう出水期前に適切な頻度で点検・記録を行い、異常や損傷の早期発見、状況の把握に努める。</p> <p>河道の流下断面を確保するよう定期的な測量調査や河川巡視により、堤防河岸や河床の状況把握に努めるとともに、河道断面維持のための土砂掘削、樹木伐採を行う。</p>	
※ 洪水時の 被害軽減	<p>危機管理型ハード対策として、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう粘り強い堤防の構築、堤防の漏水・浸透対策や周辺が浸水しても排水機場が、その機能維持をできるよう機場の耐水化対策を進める。</p> <p>円滑かつ迅速な避難のための取組として、ハザードマップやタイムラインの作成のための浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域図の作成・公表、危機管理型水位計及び河川監視カメラなどによる情報発信を行うとともに、関係市町村と連携して水防災に対する意識の醸成を図っていく。</p> <p>これらの取組み内容は、国・県・市町村等で組織する「埼玉県管理河川の氾濫に関する減災対策協議会」における取組方針に定め実施していく。</p>	
河川環境の 整備と保全	<p>河道の改修やその他の河川施設の整備および維持管理にあたっては、多自然川づくりを基本とし、現況の河床状況を踏まえ、動植物の生息環境となる瀬や淵などの保全回復に努める。河畔林を極力保全するよう努め景観にも配慮する。</p> <p>横断工作物の設置にあたっては、流量を踏まえ魚が遡上しやすい構造を検討する。その他の施設の整備においても動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮し、必要に応じて現地表土を利用するなどの対策を講じる。</p>	

※ については、上記2河川以外も共通